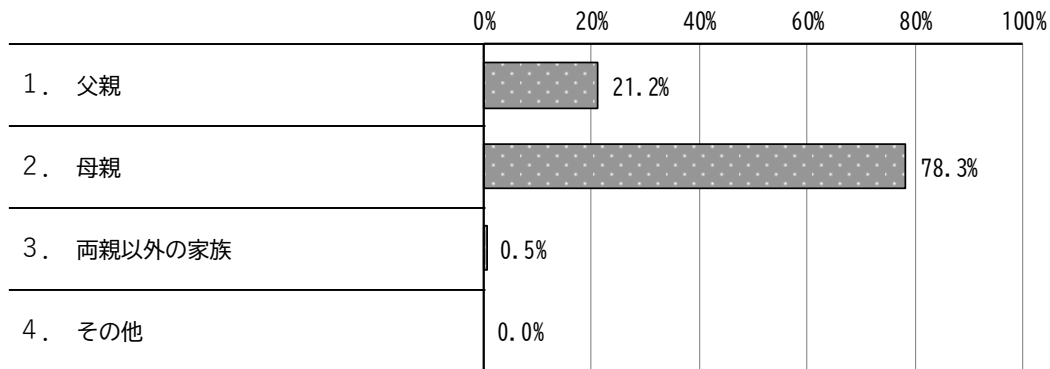


2 児童の保護者向けアンケート

保護者の方について（問1～問2）

問1 お答えいただくのは、どなたですか。（1つに○）

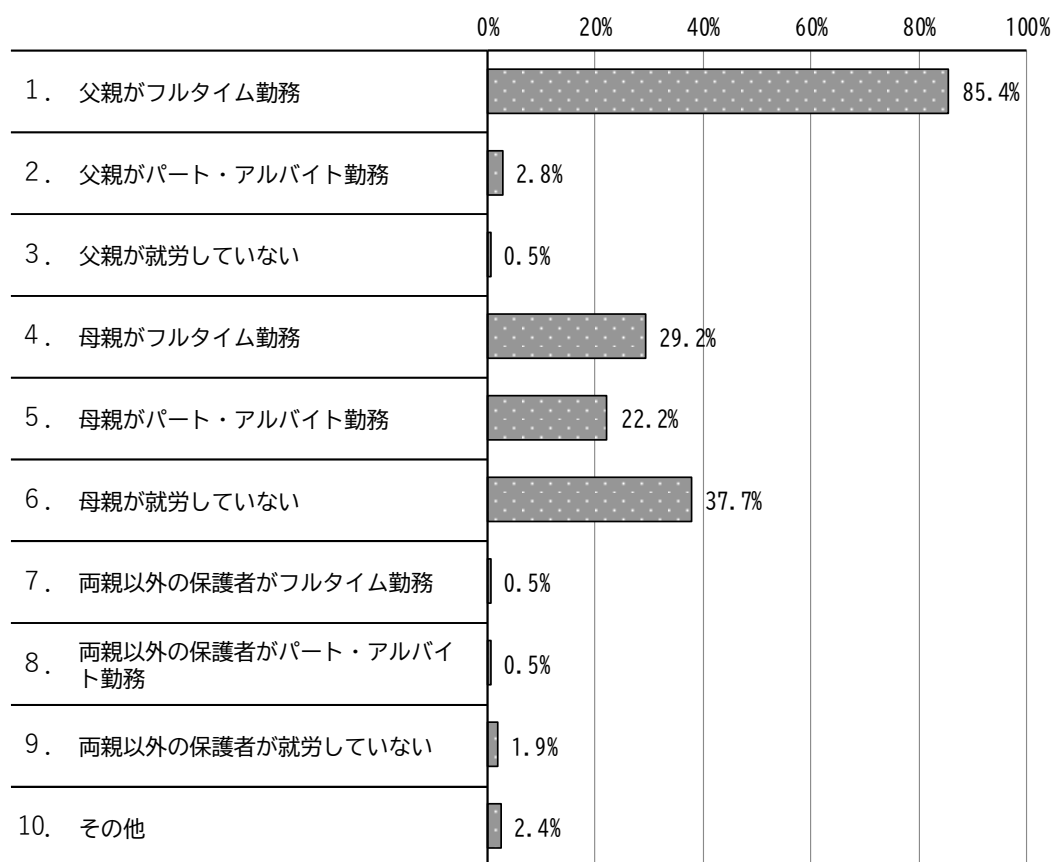
・「母親」の割合が78.3%と最も高く、次いで「父親」の割合が21.2%となっている。



		回答者数	1. 父親	2. 母親	3. 両親以外の家族	4. その他
児童	人数	212	45	166	1	-
	構成比 (%)		21.2	78.3	0.5	-

問2 お子さんのご家族の就労状況をお聞きします。(あてはまるものすべてに○)

・「父親がフルタイム勤務」の割合が 85.4%と最も高く、次いで「母親が就労していない」の割合が 37.7%、「母親がフルタイム勤務」の割合が 29.2%となっている。

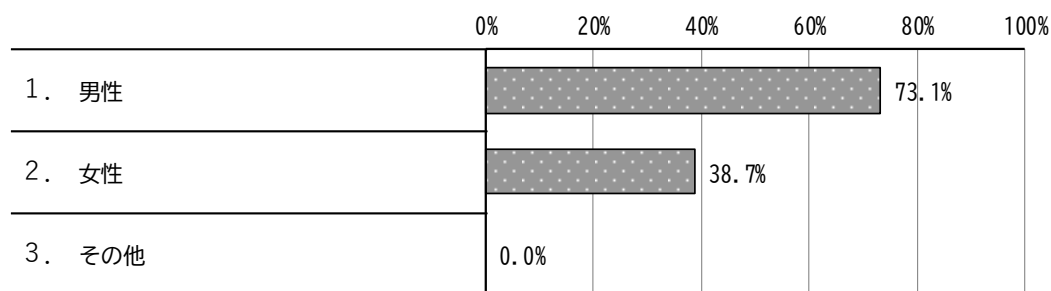


	回答者数	1. 父親がフルタイム勤務	2. 父親がパート・アルバイト勤務	3. 父親が就労していない	4. 母親がフルタイム勤務	5. 母親がパート・アルバイト勤務	6. 母親が就労していない	7. 両親以外の保護者がフルタイム勤務	8. 両親以外の保護者がパート・アルバイト勤務	9. 両親以外の保護者が就労していない	10. その他
		児童	212	181	6	1	62	47	80	1	1
		85.4	2.8	0.5	29.2	22.2	37.7	0.5	0.5	1.9	2.4

お子さんのことについて（問3～問10）

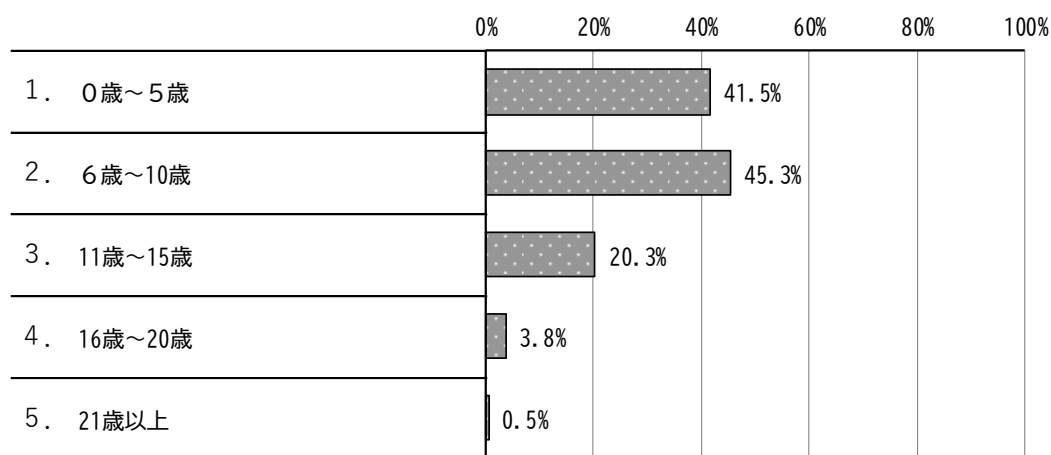
問3 発達に関する不安をお持ちのお子さん、障害のあるお子さんの性別と令和4年9月1日現在の年齢をお答えください。（2人以上のお子さんがいらっしゃる場合はそれぞれにお書きください。）

- ・「男性」の割合が73.1%、「女性」の割合が38.7%となっている。
- ・「6～10歳」の割合が45.3%と最も高く、次いで「0～5歳」の割合が41.5%、「11～15歳」の割合が20.3%となっている。



		回答者数	1. 男性	2. 女性	3. その他
児童	人数	212	155	82	-
	構成比 (%)		73.1	38.7	-

※212名の回答者（保護者）のうち、22名は対象となるお子さんが2人、3名はお子さんが3人いるため、構成比の合計が100%を越えている。

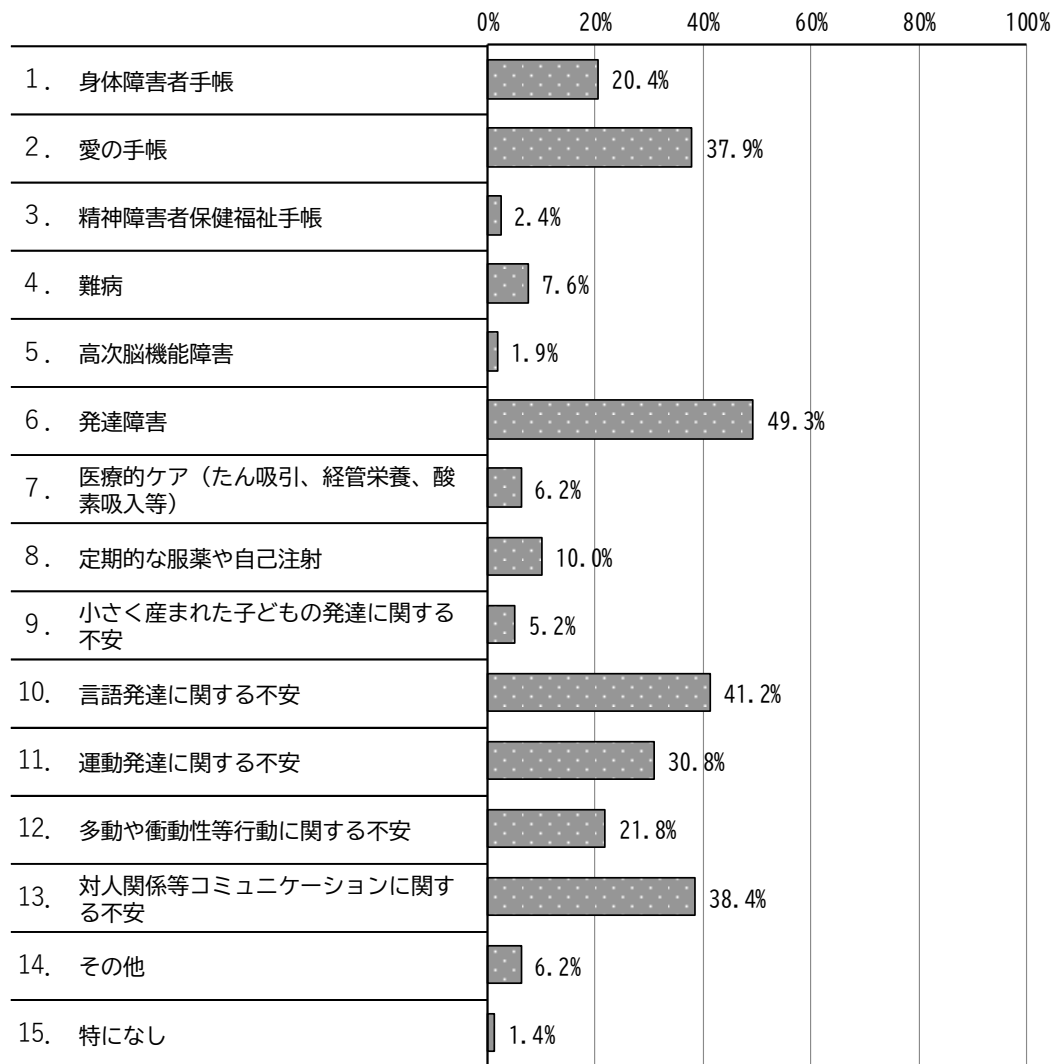


		回答者数	1. 0～5歳	2. 6～10歳	3. 11～15歳	4. 16～20歳	5. 21歳以上
児童	人数	212	88	96	43	8	1
	構成比 (%)		41.5	45.3	20.3	3.8	0.5

※212名の回答者（保護者）のうち、21名は対象となるお子さんが2人、3名はお子さんが3人いるため、構成比の合計が100%を越えている。

問4 お子さんの発達に関する不安や障害、現在お持ちの手帳、障害の程度等について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

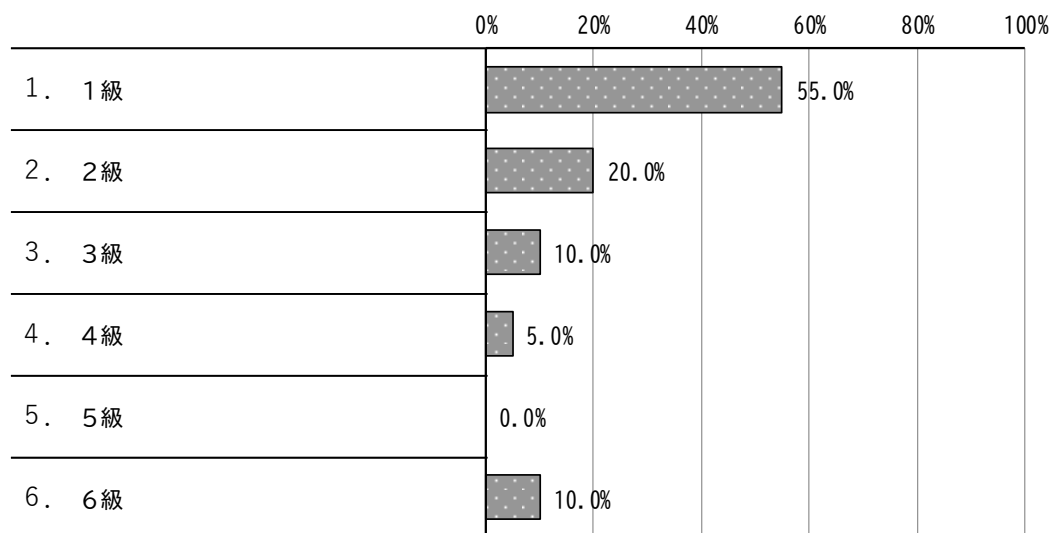
・「発達障害」の割合が 49.3%と最も高く、次いで「言語発達に関する不安」の割合が 41.2%、「対人関係等コミュニケーションに関する不安」の割合が 38.4%となっている。



		回答者数	1. 身体障害者手帳	2. 愛の手帳	3. 精神障害者保健福祉手帳	4. 難病	5. 高次脳機能障害	6. 発達障害	7. 医療的ケア（たん吸引、経管栄養、酸素吸入等）
児童	人数	211	43	80	5	16	4	104	13
	構成比 (%)		20.4	37.9	2.4	7.6	1.9	49.3	6.2
		8. 定期的な服薬や自己注射	9. 小さく産まれた子どもの発達に関する不安	10. 言語発達に関する不安	11. 運動発達に関する不安	12. 多動や衝動性等行動に関する不安	13. 対人関係等コミュニケーションに関する不安	14. その他	15. 特になし
児童	人数	21	11	87	65	46	81	13	3
	構成比 (%)	10.0	5.2	41.2	30.8	21.8	38.4	6.2	1.4

問4—1 身体障害者手帳の級数（知的障害の方、精神障害の方、難病の方は、重複して身体障害者手帳を保有している場合の身体障害者手帳の級数）

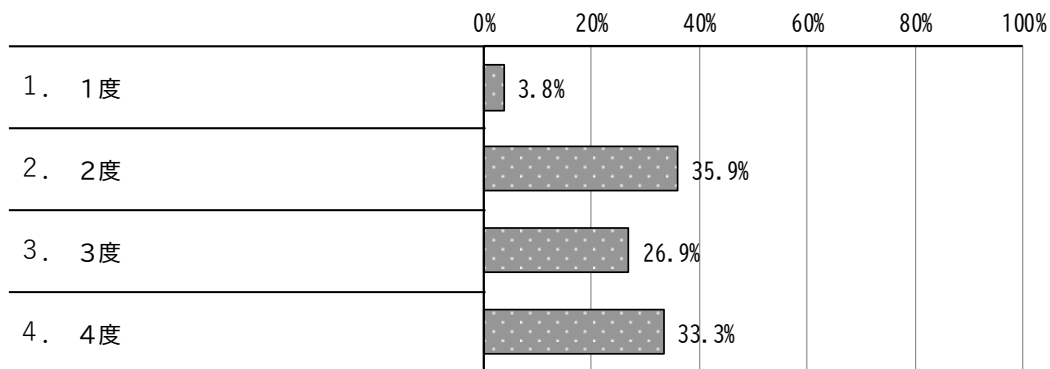
・「1級」の割合が55.0%と最も高く、次いで「2級」の割合が20.0%、「3級」「6級」の割合が10.0%となっている。



		回答者数	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級	5. 5級	6. 6級
児童	人数	40	22	8	4	2	-	4
	構成比 (%)		55.0	20.0	10.0	5.0	-	10.0

問4-2 愛の手帳の度数（身体障害の方、精神障害の方、難病の方は、重複して愛の手帳を保有している場合の愛の手帳の度数）

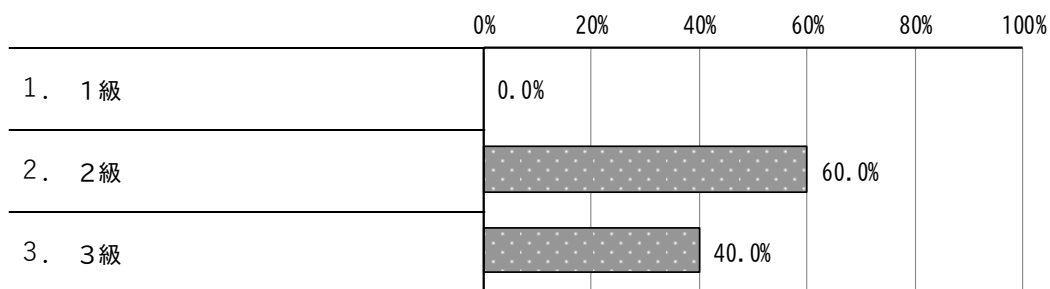
・「2度」の割合が35.9%と最も高く、次いで「4度」の割合が33.3%、「3度」の割合が26.9%となっている。



		回答者数	1. 1度	2. 2度	3. 3度	4. 4度
児童	人数	78	3	28	21	26
	構成比 (%)		3.8	35.9	26.9	33.3

問4-3 精神障害者保健福祉手帳の級数（身体障害の方、知的障害の方、難病の方は、重複して精神障害者保健福祉手帳を保有している場合の精神障害者保健福祉手帳の級数）

・「2級」が60.0%、「3級」が40.0%となっている。

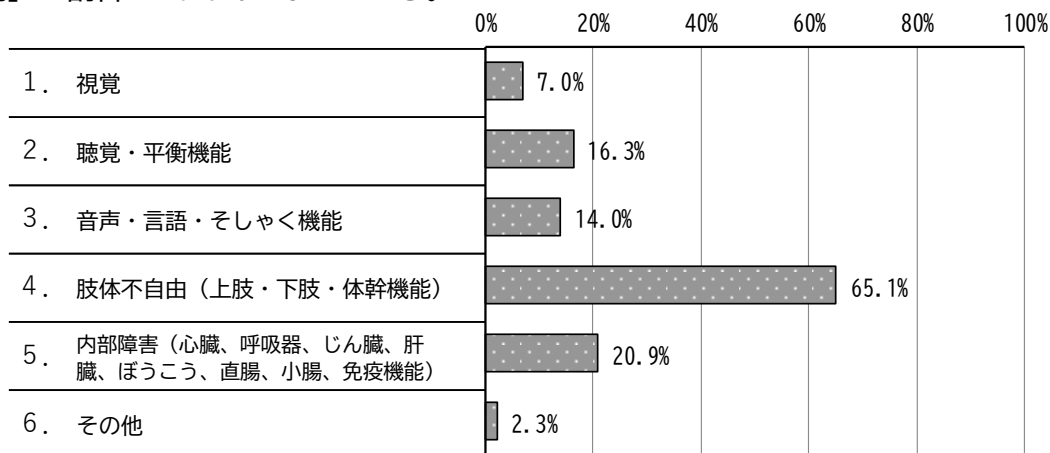


		回答者数	1. 1級	2. 2級	3. 3級
児童	人数	5	-	3	2
	構成比 (%)		-	60.0	40.0

★身体障害者手帳をお持ちの場合にお聞きします。

問4-A 主な障害の部位は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

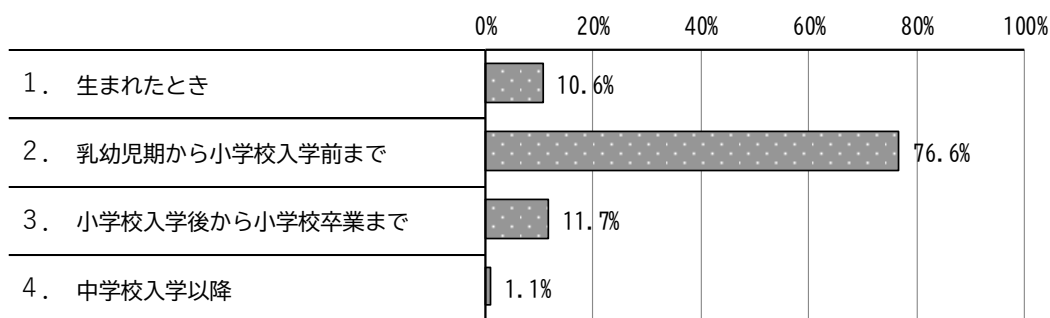
・「肢体不自由(上肢・下肢・体幹機能)」の割合が65.1%と最も高く、次いで「内部障害(心臓、呼吸器、じん臓、肝臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能)」の割合が20.9%、「聴覚・平衡機能」の割合が16.3%となっている。



		回答者数	1. 視覚	2. 聴覚・平衡機能	3. 音声・言語・そしゃく機能	4. 肢体不自由 (上肢・下肢・体幹機能)	5. 内部障害 (心臓、呼吸器、じん臓、肝臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能)	6. その他
児童	人数	43	3	7	6	28	9	1
	構成比 (%)		7.0	16.3	14.0	65.1	20.9	2.3

問5 障害者手帳をはじめて交付されたのはいつですか。(1つに○)

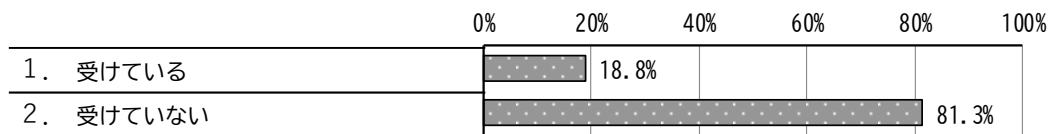
・「乳幼児期から小学校入学前まで」の割合が76.6%と最も高く、次いで「小学校入学後から小学校卒業まで」の割合が11.7%、「生まれたとき」の割合が10.6%となっている。



		回答者数	1. 生まれたとき	2. 乳幼児期から小学校入学前まで	3. 小学校入学後から小学校卒業まで	4. 中学校入学以降
児童	人数	94	10	72	11	1
	構成比 (%)		10.6	76.6	11.7	1.1

問6 お子さんは、現在医療的ケアを受けていますか。(1つに○)

・「受けている」の割合が18.8%、「受けていない」の割合が81.3%となっている。



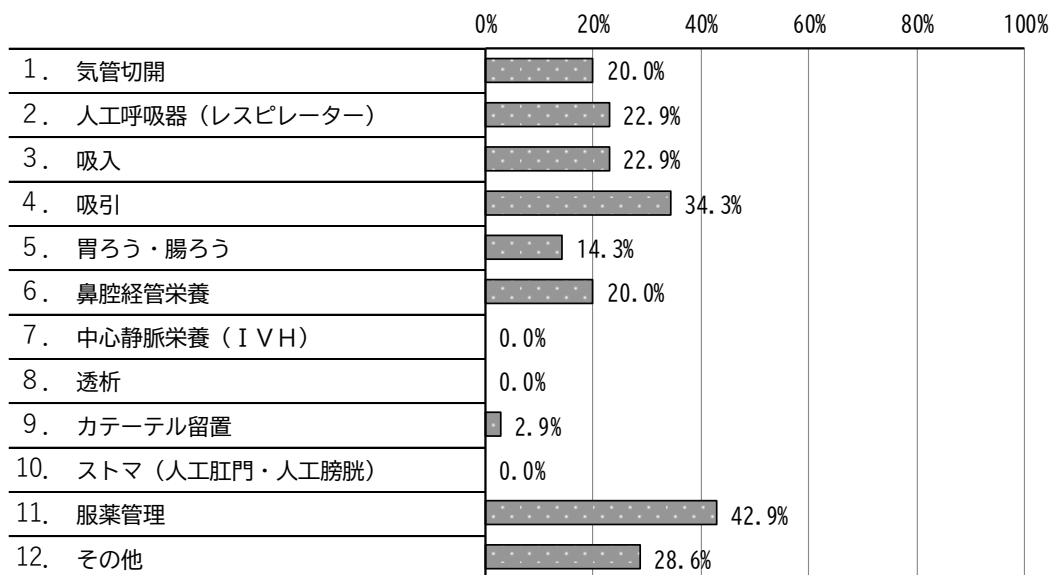
		回答者数	1. 受けている	2. 受けていない
児童	人数	192	36	156
	構成比 (%)		18.8	81.3

★問6で「1 受けている」と回答した方におたずねします。

問6-A お子さんが現在受けている医療的ケアをお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

・「服薬管理」の割合が42.9%と最も高く、次いで「吸引」の割合が34.3%となっている。



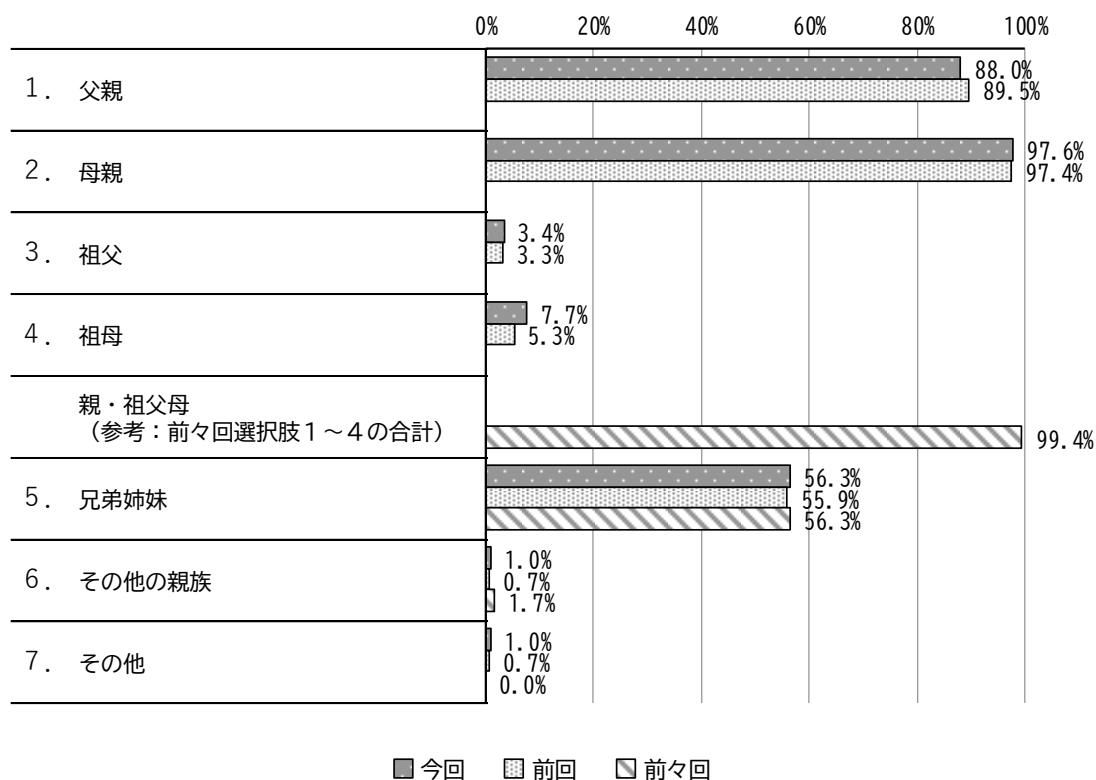
		回答者数	1. 気管切開	2. 人工呼吸器 (レスピレーター)	3. 吸入	4. 吸引	5. 胃ろう・腸ろう	6. 鼻腔経管栄養
児童	人数	35	7	8	8	12	5	7
	構成比 (%)		20.0	22.9	22.9	34.3	14.3	20.0

		7. 中心静脈栄養 (IVH)	8. 透析	9. カテーテル留置	10. ストマ (人工肛門・人工膀胱)	11. 服薬管理	12. その他
児童	人数	-	-	1	-	15	10
	構成比 (%)	-	-	2.9	-	42.9	28.6

問7 お子さんは、どなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「母親」が約98%

- ・「母親」の割合が97.6%と最も高く、次いで「父親」の割合が88.0%、「兄弟姉妹」の割合が56.3%となっている。
- ・なお、今回調査の「1 父親 2 母親 3 祖父 4 祖母」については、前々回調査において「親・祖父母」として選択肢を合わせていたため、参考データとして示している。

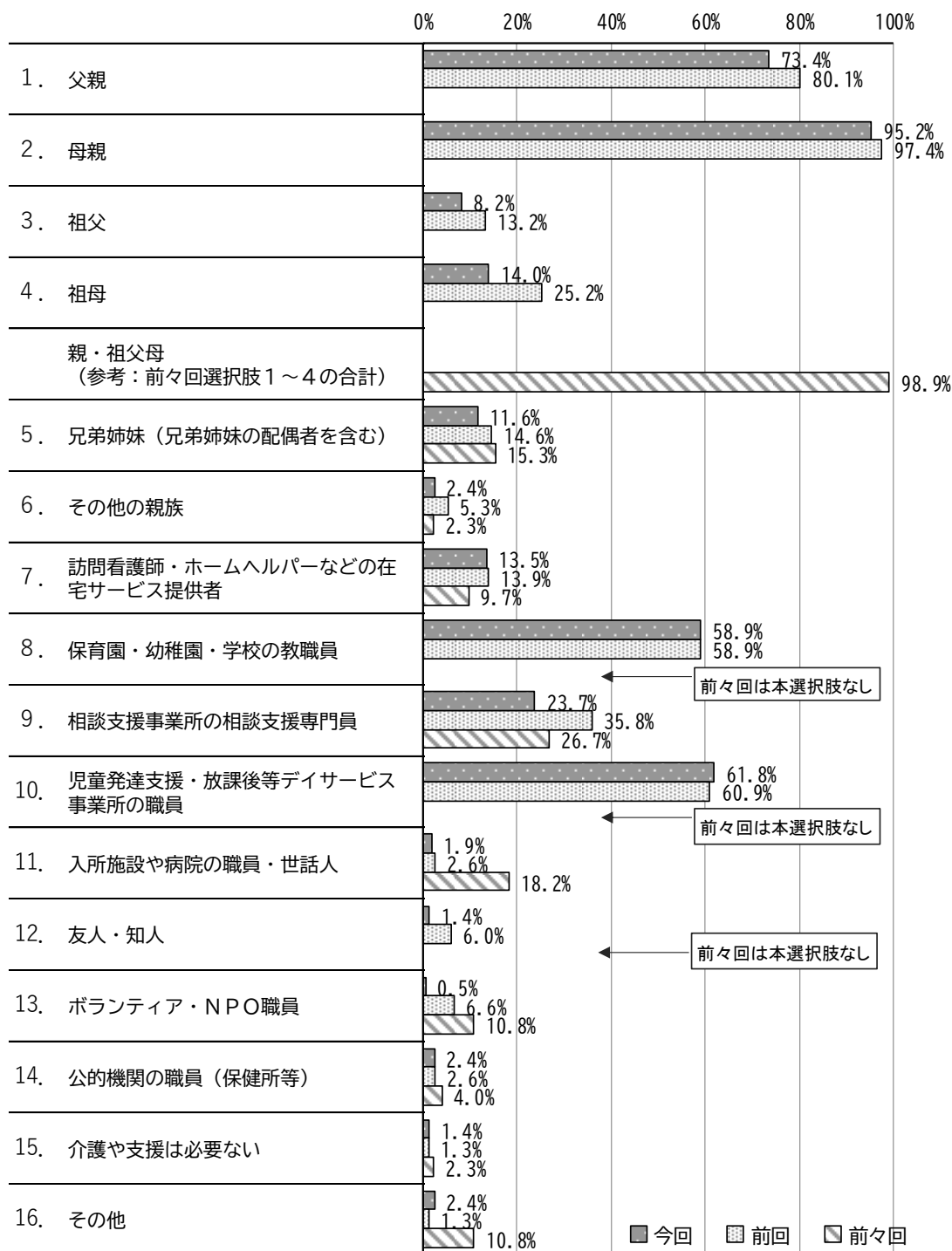


		回答者数	1. 父親	2. 母親	3. 祖父	4. 祖母	5. 兄弟姉妹	6. その他の親族	7. その他
児童	人数	208	183	203	7	16	117	2	2
	構成比 (%)		88.0	97.6	3.4	7.7	56.3	1.0	1.0

問8 お子さんの介護や支援をしている方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

「母親」が約95%

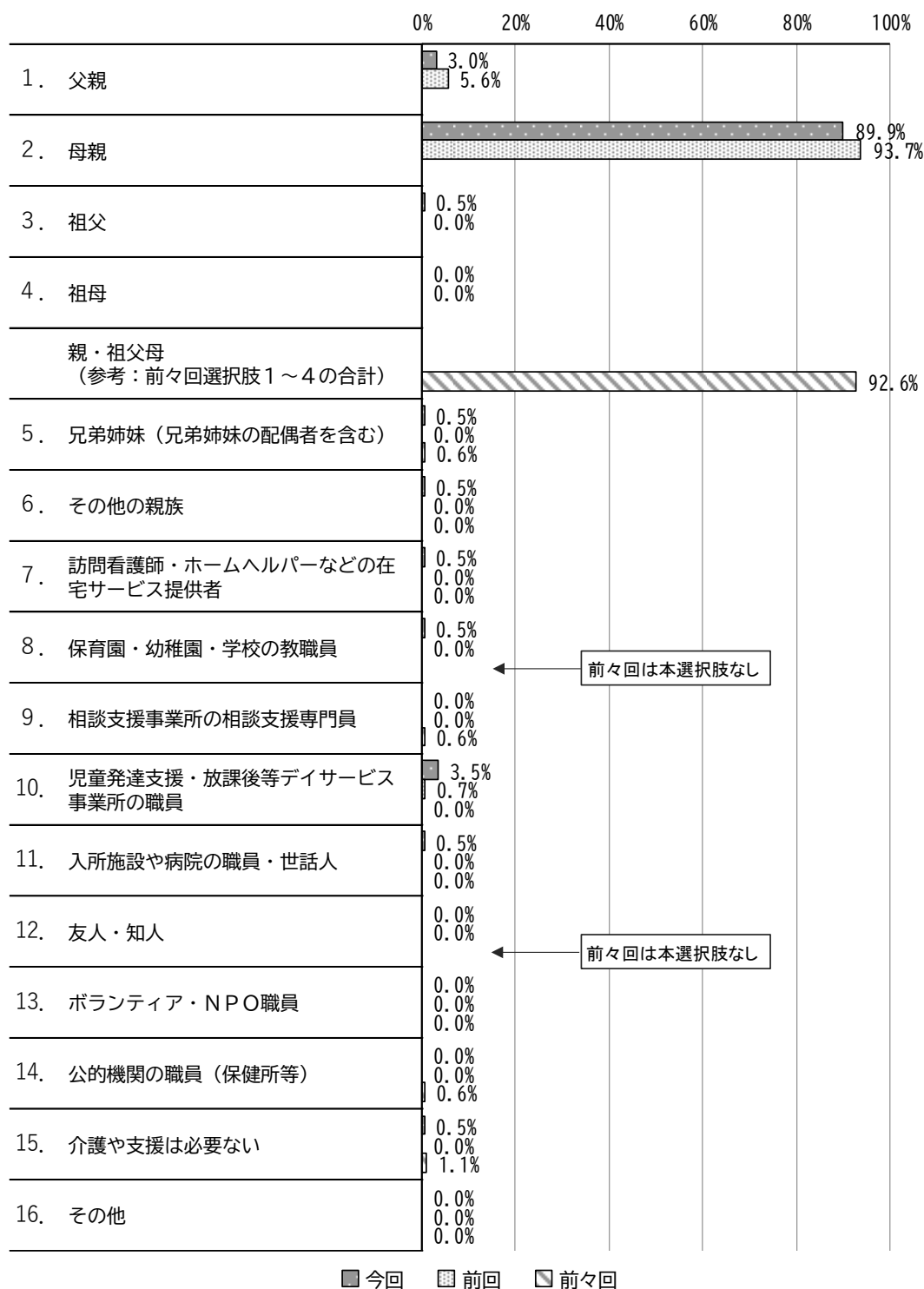
- ・「母親」の割合が95.2%と最も高く、次いで「父親」の割合が73.4%、「児童発達支援・放課後等デイサービス事業所の職員」の割合が61.8%となっている。
- ・前回と比較すると、「祖母」「相談支援事業所の相談支援専門員」の割合が減少している。
- ・なお、今回調査の「1父親2母親3祖父4祖母」については、前々回調査において「親・祖母」として選択肢を合わせていたため、参考データとして示している。



		回答者数	1. 父親	2. 母親	3. 祖父	4. 祖母	5. 兄弟姉妹 (兄弟姉妹の配偶者を含む)	6. その他の親族	7. 訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者	8. 保育園・幼稚園・学校の教職員
児童	人数	207	152	197	17	29	24	5	28	122
	構成比 (%)		73.4	95.2	8.2	14.0	11.6	2.4	13.5	58.9
		9. 相談支援事業所の相談支援専門員	10. 児童発達支援・放課後等デイサービス事業所の職員	11. 入所施設や病院の職員・世話人	12. 友人・知人	13. ボランティア・NPO職員	14. 公的機関の職員(保健所等)	15. 介護や支援は必要ない	16. その他	
児童	人数	49	128	4	3	1	5	3	5	
	構成比 (%)	23.7	61.8	1.9	1.4	0.5	2.4	1.4	2.4	

問8-A 問8で回答した中で、主に介護や支援をしている方

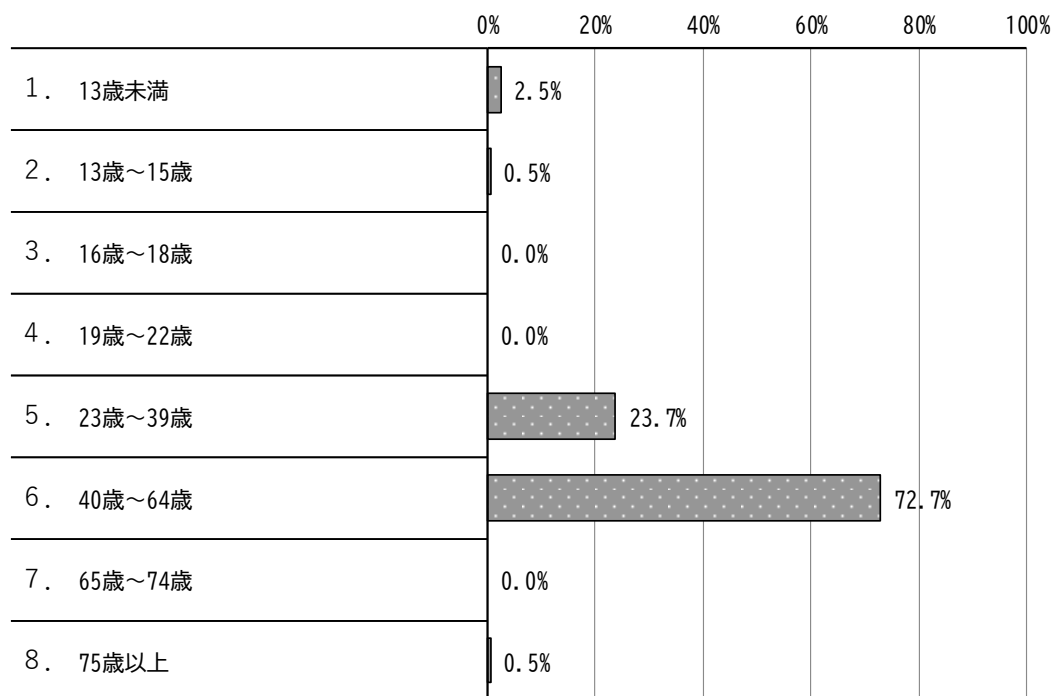
- ・「母親」の割合が89.9%と最も高くなっている。
- ・なお、今回調査の「1 父親 2 母親 3 祖父 4 祖母」については、前々回調査において「親・祖父母」として選択肢を合わせていたため、参考データとして示している。



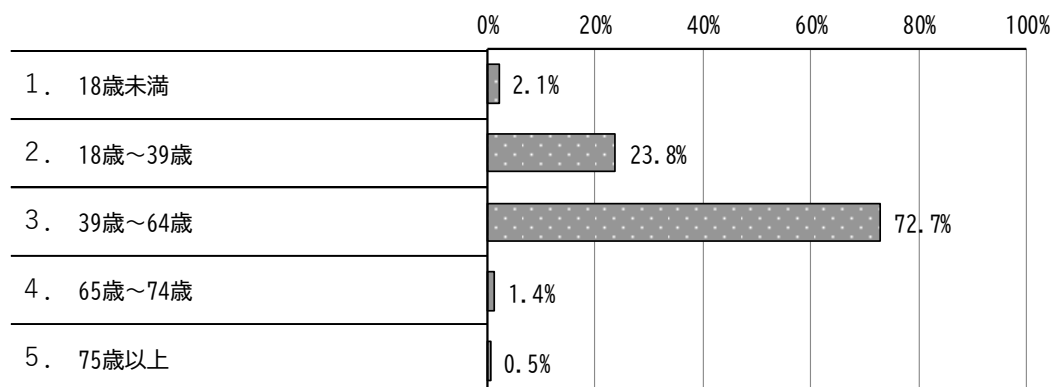
		回答者数	1. 父親	2. 母親	3. 祖父	4. 祖母	5. 兄弟姉妹（兄弟姉妹の配偶者を含む）	6. その他の親族	7. 訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者	8. 保育園・幼稚園・学校の教職員
児童	人数	197	6	178	1	-	1	1	1	1
	構成比 (%)		3.0	89.9	0.5	-	0.5	0.5	0.5	0.5
		9. 相談支援事業所の相談支援専門員	10. 児童発達支援・放課後等デイサービス事業所の職員	11. 入所施設や病院の職員・世話人	12. 友人・知人	13. ボランティア・NPO職員	14. 公的機関の職員（保健所等）	15. 介護や支援は必要ない	16. その他	
児童	人数	-	7	1	-	-	-	1	-	-
	構成比 (%)	-	3.5	0.5	-	-	-	0.5	-	-

問8-B 問8-Aの「主に介護や支援をしている人」の年齢はいくつですか。
(1つに○)

・「40歳～64歳」の割合が72.7%と最も高く、次いで「23歳～39歳」の割合が23.7%となっている。



[前回調査：選択肢が異なるため参考として掲載]

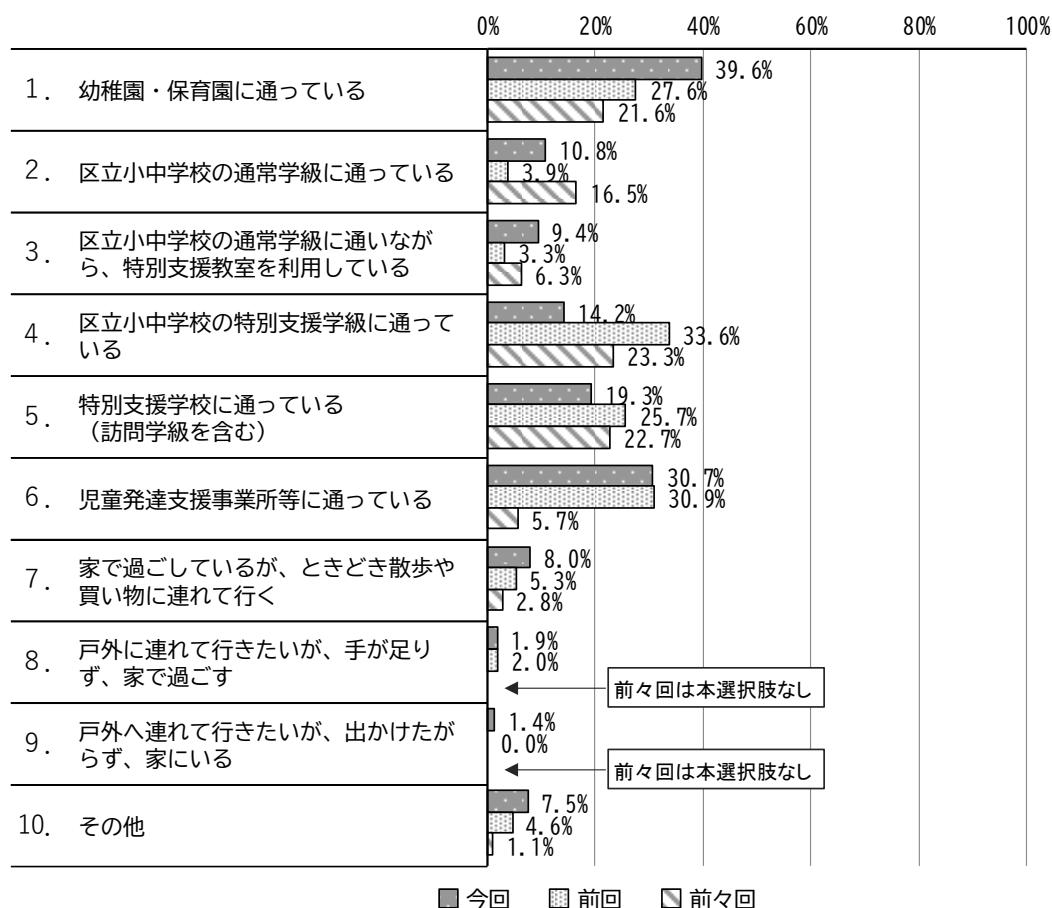


	回答者数	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.
		13歳未満	13歳～15歳	16歳～18歳	19歳～22歳	23歳～39歳	40歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上
児童	人数	5	1	-	-	47	144	-	1
	構成比(%)	2.5	0.5	-	-	23.7	72.7	-	0.5

問9 お子さんは、平日の日中、どのように過ごしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

「幼稚園・保育園に通っている」が約40%

- ・「幼稚園・保育園に通っている」の割合が39.6%と最も高く、次いで「児童発達支援事業所等に通っている」の割合が30.7%、「特別支援学校に通っている（訪問学級を含む）」の割合が19.3%となっている。
- ・前回と比較すると、「幼稚園・保育園に通っている」の割合が増加している。

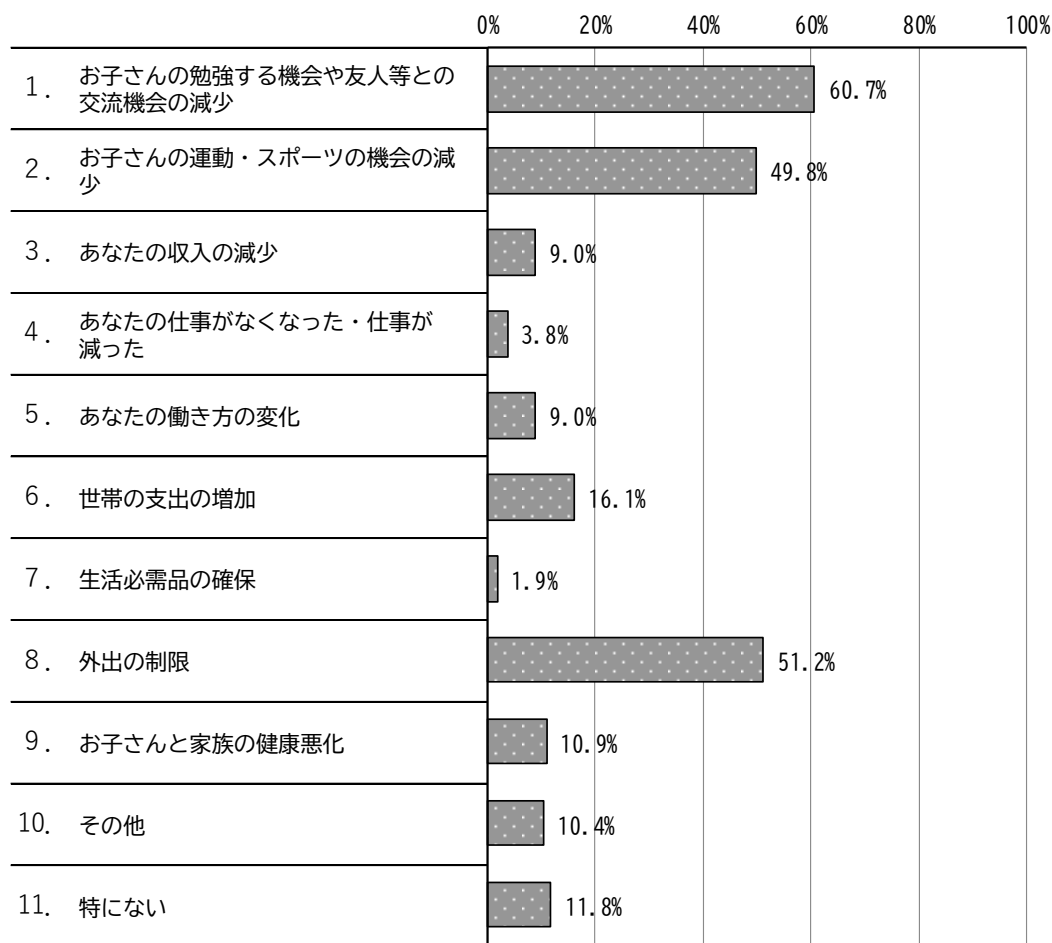


	回答者数	10. その他										
		1. 幼稚園・保育園に通っている	2. 区立小中学校の通常学級に通っている	3. 区立小中学校の通常学級に通いながら、特別支援教室を利用している	4. 区立小中学校の特別支援学級に通っている	5. 特別支援学校に通っている（訪問学級を含む）	6. 児童発達支援事業所等に通っている	7. 家で過ごしているが、ときどき散歩や買い物に連れて行く	8. 戸外に連れて行きたいが、手が足りず、家で過ごす	9. 戸外へ連れて行きたいが、出かけたがらず、家にいる	10. その他	
児童	人数	212	84	23	20	30	41	65	17	4	3	16
	構成比 (%)		39.6	10.8	9.4	14.2	19.3	30.7	8.0	1.9	1.4	7.5

問 10 新型コロナウイルス感染症によるお子さんの日常生活への影響で、あなたが特に困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「勉強する機会や友人等との交流機会の減少」が約 61%

・「お子さんの勉強する機会や友人等との交流機会の減少」の割合が 60.7%と最も高く、次いで「外出の制限」の割合が 51.2%、「お子さんの運動・スポーツの機会の減少」の割合が 49.8%となっている。



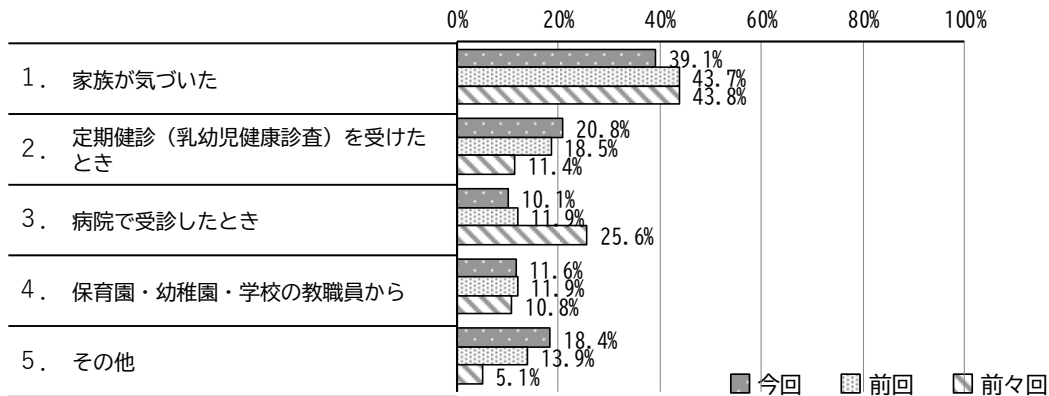
	回答者数	1. お子さんの勉強する機会や友人等との交流機会の減少	2. お子さんの運動・スポーツの機会の減少	3. あなたの収入の減少	4. あなたの仕事がなくなった・仕事が減った	5. あなたの働き方の変化	6. 世帯の支出の増加	7. 生活必需品の確保	8. 外出の制限	9. お子さんと家族の健康悪化	10. その他	11. 特にない	
		児童	人数	211	128	105	19	8	19	34	4	108	23
	構成比 (%)		60.7	49.8	9.0	3.8	9.0	16.1	1.9	51.2	10.9	10.4	11.8

発達不安や障害に気づいたときについて（問 11～問 13）

問 11 お子さんの発達不安や障害に気づいたきっかけは何ですか。（1つに○）

「家族が気づいた」が約 39%

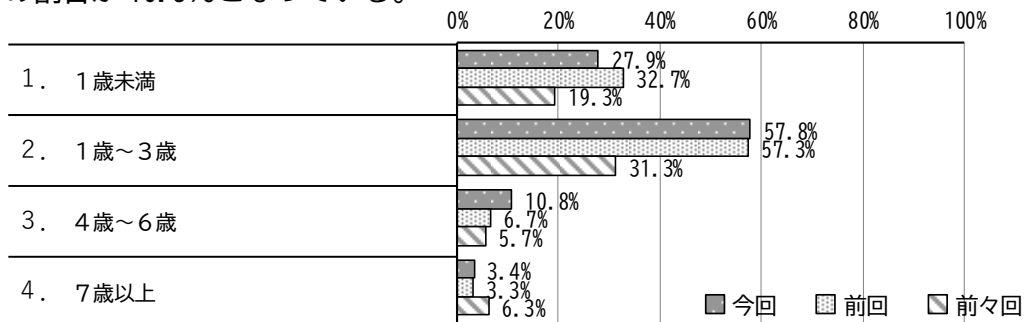
- ・「家族が気づいた」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「定期健診（乳幼児健康診査）を受けたとき」の割合が 20.8%となっている。
- ・その他としては、主に「生まれたとき」という趣旨の内容が記載されている。



		回答者数	1. 家族が気づいた	2. 定期健診（乳幼児健康診査）を受けたとき	3. 病院で受診したとき	4. 保育園・幼稚園・学校の教職員から	5. その他
児童	人数	207	81	43	21	24	38
	構成比 (%)		39.1	20.8	10.1	11.6	18.4

問 11-A 発達不安や障害に気付いたときのお子さんの年齢

- ・「1歳～3歳」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「1歳未満」の割合が 27.9%、「4歳～6歳」の割合が 10.8%となっている。

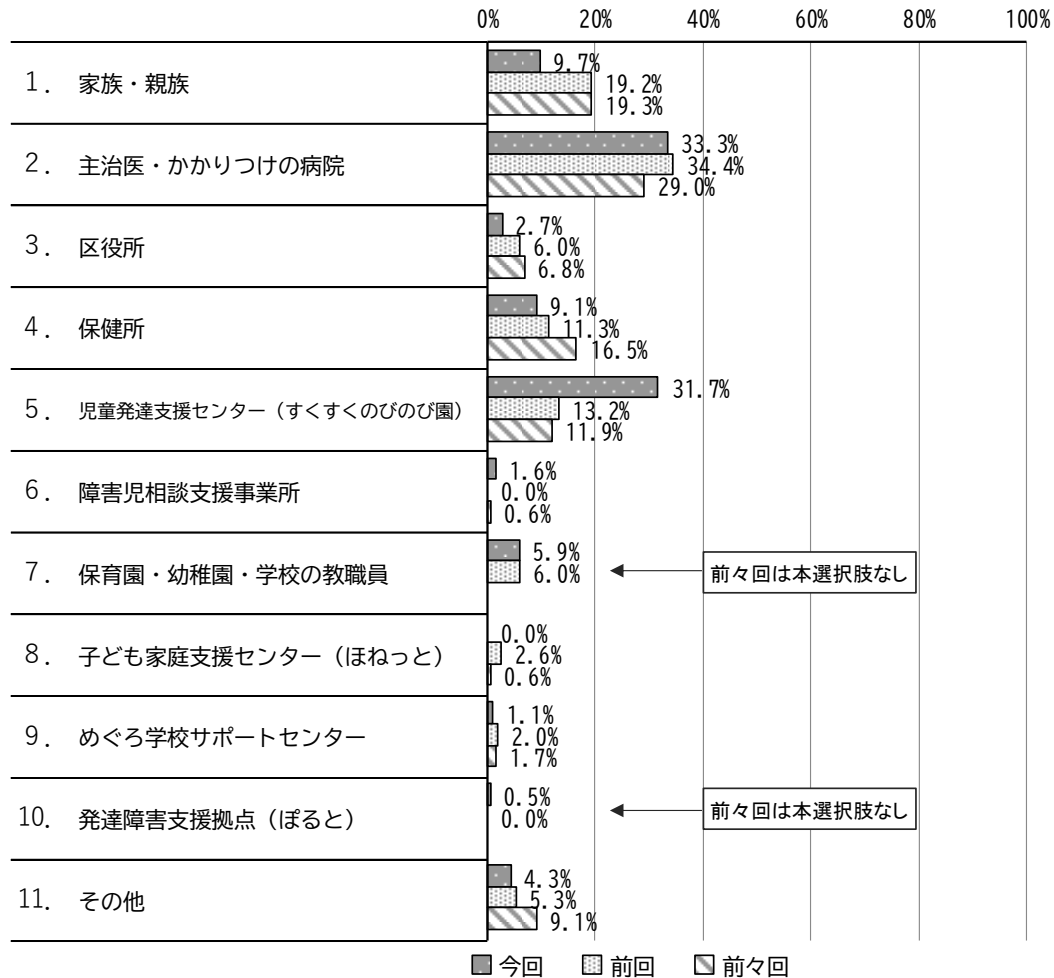


		回答者数	1. 1歳未満	2. 1歳～3歳	3. 4歳～6歳	4. 7歳以上
児童	人数	204	57	118	22	7
	構成比 (%)		27.9	57.8	10.8	3.4

問 12 お子さんの発達の不安や障害に気づいたとき、主に誰(どこ)に相談しましたか。
(1つに○)

「主治医・かかりつけの病院」への相談が約 33%

- ・「主治医・かかりつけの病院」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「児童発達支援センター（すくすくのびのび園）」の割合が 31.7%となっている。
- ・前回と比較すると、「児童発達支援センター（すくすくのびのび園）」の割合が増加している。

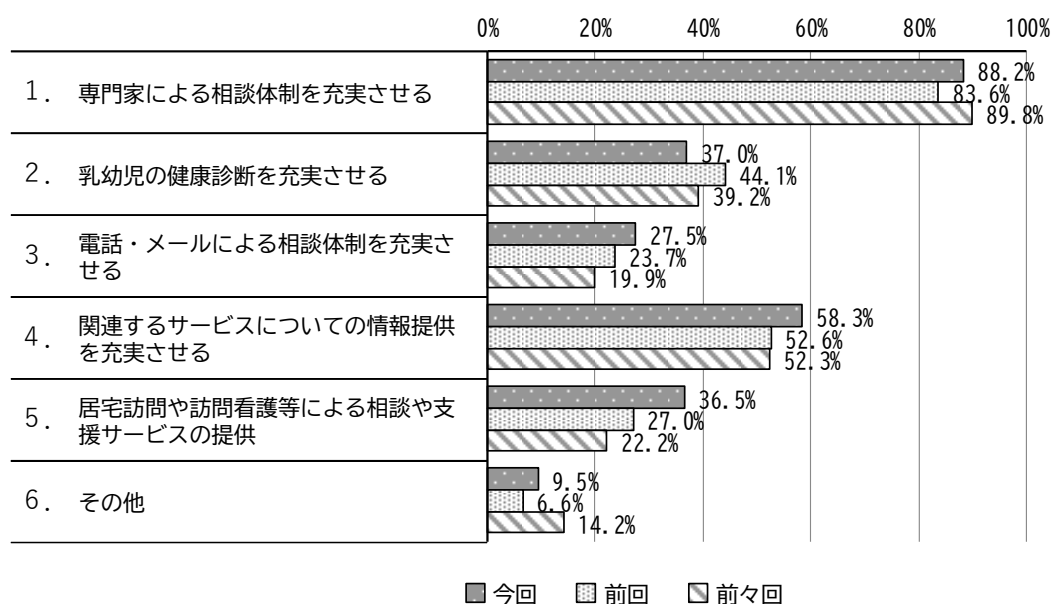


児童	回答者数	1. 家族・親族	2. 主治医・かかりつけの病院	3. 区役所	4. 保健所	5. 児童発達支援センター（すくすくのびのび園）	6. 障害児相談支援事業所	7. 保育園・幼稚園・学校の教職員	8. 子ども家庭支援センター（ほねっと）	9. めぐる学校サポートセンター	10. 発達障害支援拠点（ぽると）	11. その他
		人数	186	18	62	5	17	59	3	11	-	2
構成比 (%)		9.7	33.3	2.7	9.1	31.7	1.6	5.9	-	1.1	0.5	4.3

問 13 発達に関する不安や障害のあるお子さんが、早期に適切な支援を受けるために必要なことは何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「専門家による相談体制を充実させる」が約 88%

・「専門家による相談体制を充実させる」の割合が 88.2%と最も高く、次いで「関連するサービスについての情報提供を充実させる」の割合が 58.3%、「乳幼児の健康診断を充実させる」の割合が 37.0%となっている。



	回答者数	1. 専門家による相談体制を充実させる	2. 乳幼児の健康診断を充実させる	3. 電話・メールによる相談体制を充実させる	4. 関連するサービスについての情報提供を充実させる	5. 居宅訪問や訪問看護等による相談や支援サービスの提供	6. その他
		児童	211	186	78	58	123
		88.2	37.0	27.5	58.3	36.5	9.5

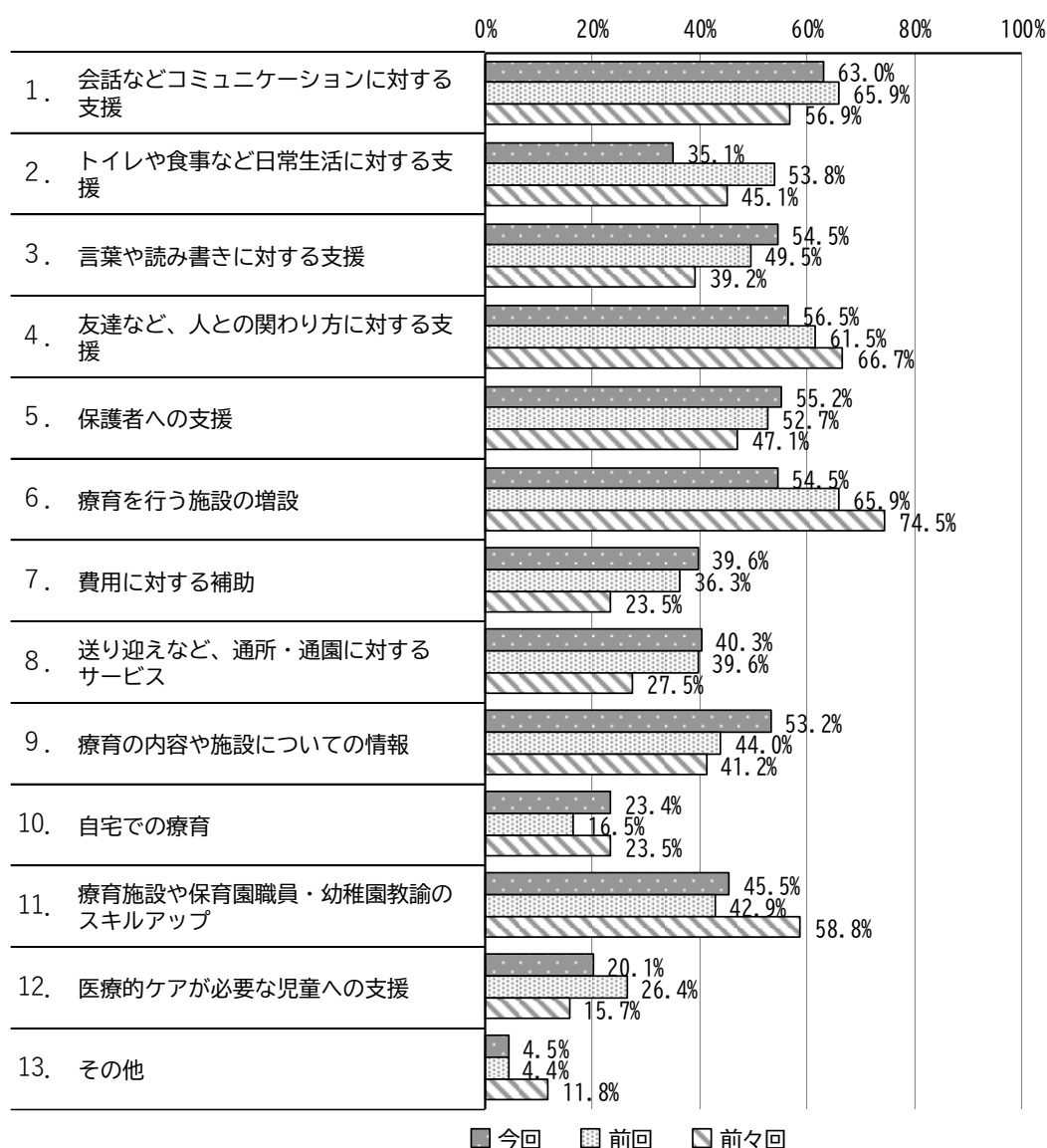
お子さんの教育・療育について（問 14～問 18）

★就学前のお子さんについてお聞きします。

問 14 お子さんが受けている療育や支援について充実させるべきだと思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

「会話などコミュニケーションに対する支援」が 63%

- ・「会話などコミュニケーションに対する支援」の割合が 63.0%と最も高く、次いで「友達など、人との関わり方に対する支援」の割合が 56.5%、「保護者への支援」の割合が 55.2%となっている。
- ・前回と比較すると、「トイレや食事など日常生活に対する支援」、「療育を行う施設の増設」の割合が減少している。



		回答者数	1. 会話などコミュニケーションに対する支援	2. トイレや食事など日常生活に対する支援	3. 言葉や読み書きに対する支援	4. 友達など、人との関わり方に対する支援	5. 保護者への支援	6. 療育を行う施設の増設
児童	人数	154	97	54	84	87	85	84
	構成比 (%)		63.0	35.1	54.5	56.5	55.2	54.5

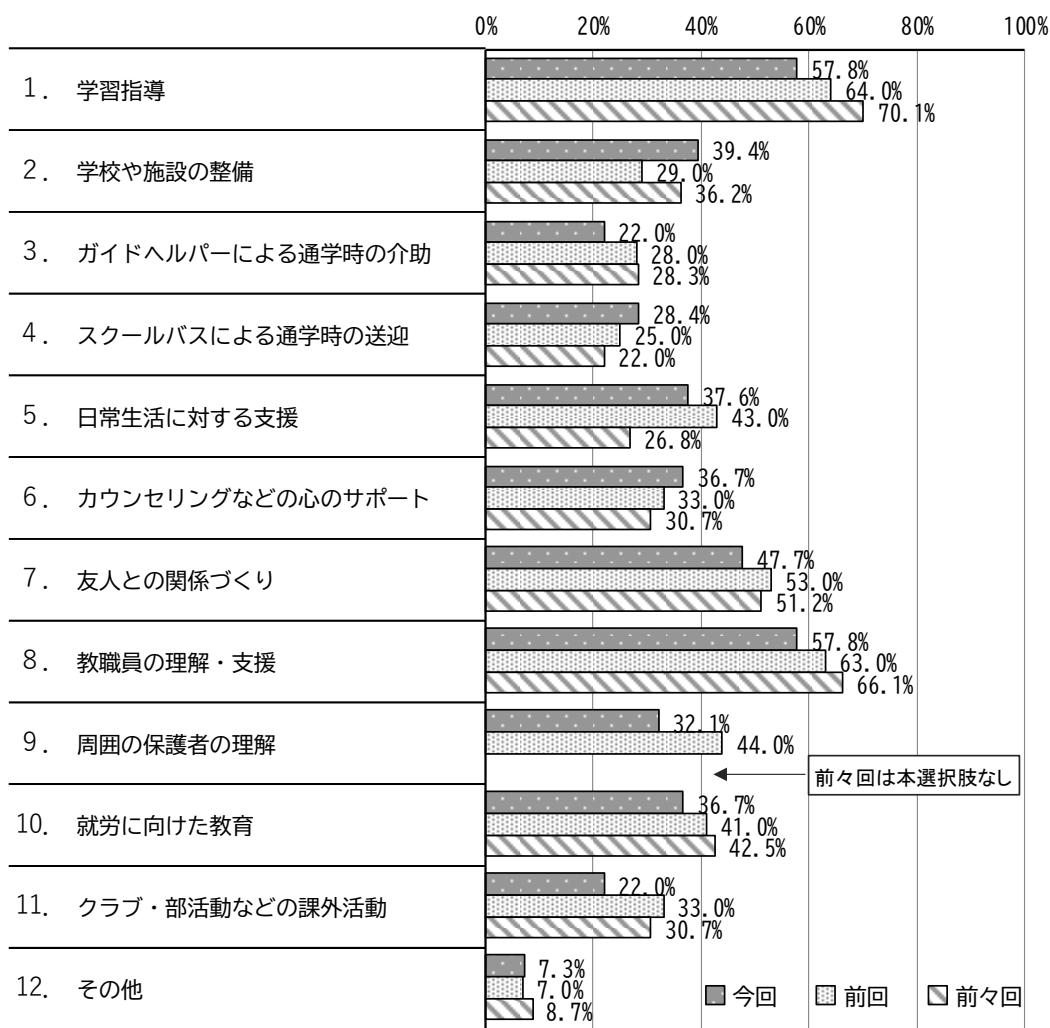
		7. 費用に対する補助	8. 送り迎えなど、通所・通園に対するサービス	9. 療育の内容や施設についての情報	10. 自宅での療育	11. 療育施設や保育園職員・幼稚園教諭のスキルアップ	12. 医療的ケアが必要な児童への支援	13. その他
児童	人数	61	62	82	36	70	31	7
	構成比 (%)	39.6	40.3	53.2	23.4	45.5	20.1	4.5

★就学中のお子さんについてお聞きします。

問 15 お子さんが受けている教育や学校生活について充実させるべきだと思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「学習指導」、「教職員の理解・支援」が約 58%

- ・「学習指導」「教職員の理解・支援」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「友人との関係づくり」の割合が 47.7%となっている。
- ・前回と比較すると、「学校や施設の整備」の割合が増加している。一方、「周囲の保護者の理解」「クラブ・部活動などの課外活動」の割合が減少している。



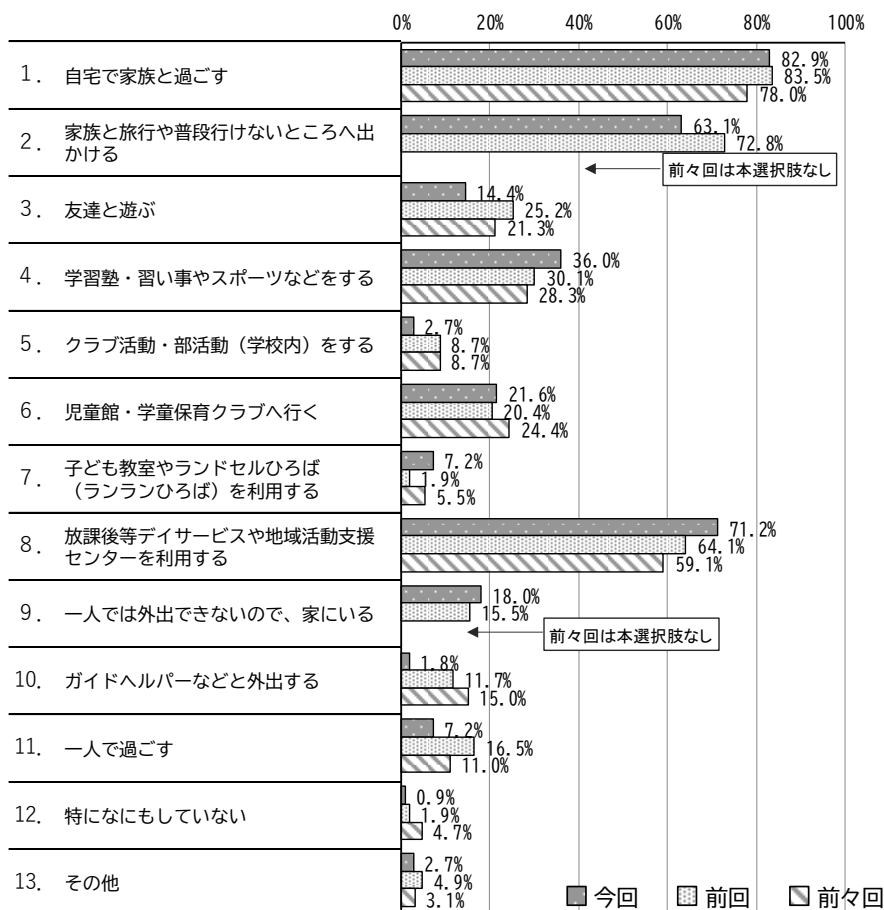
		回答者数	1. 学習指導	2. 学校や施設の整備	3. ガイドヘルパーによる通学時の介助	4. スクールバスによる通学時の送迎	5. 日常生活に対する支援	6. カウンセリングなどの心のサポート	7. 友人との関係づくり	8. 教職員の理解・支援	9. 周囲の保護者の理解	10. 就労に向けた教育	11. クラブ・部活動などの課外活動	12. その他
児童	人数	109	63	43	24	31	41	40	52	63	35	40	24	8
	構成比 (%)		57.8	39.4	22.0	28.4	37.6	36.7	47.7	57.8	32.1	36.7	22.0	7.3

★就学中のお子さんについてお聞きします。

問 16 お子さんは、放課後や夏休みなどの長期休業中は、どのように過ごしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

「自宅で家族と過ごす」が約 83%

- ・「自宅で家族と過ごす」の割合が 82.9%と最も高く、次いで「放課後等デイサービスや地域活動支援センターを利用する」の割合が 71.2%、「家族と旅行や普段行けないところへ出かける」の割合が 63.1%となっている。
- ・前回と比較すると、「友達と遊ぶ」の割合が減少している。



		回答者数	1. 自宅で家族と過ごす	2. 家族と旅行や普段行けないところへ出かける	3. 友達と遊ぶ	4. 学習塾・習い事やスポーツなどをする	5. クラブ活動(学校内)をする	6. 児童館・学童保育クラブへ行く
児童	人数	111	92	70	16	40	3	24
	構成比 (%)		82.9	63.1	14.4	36.0	2.7	21.6

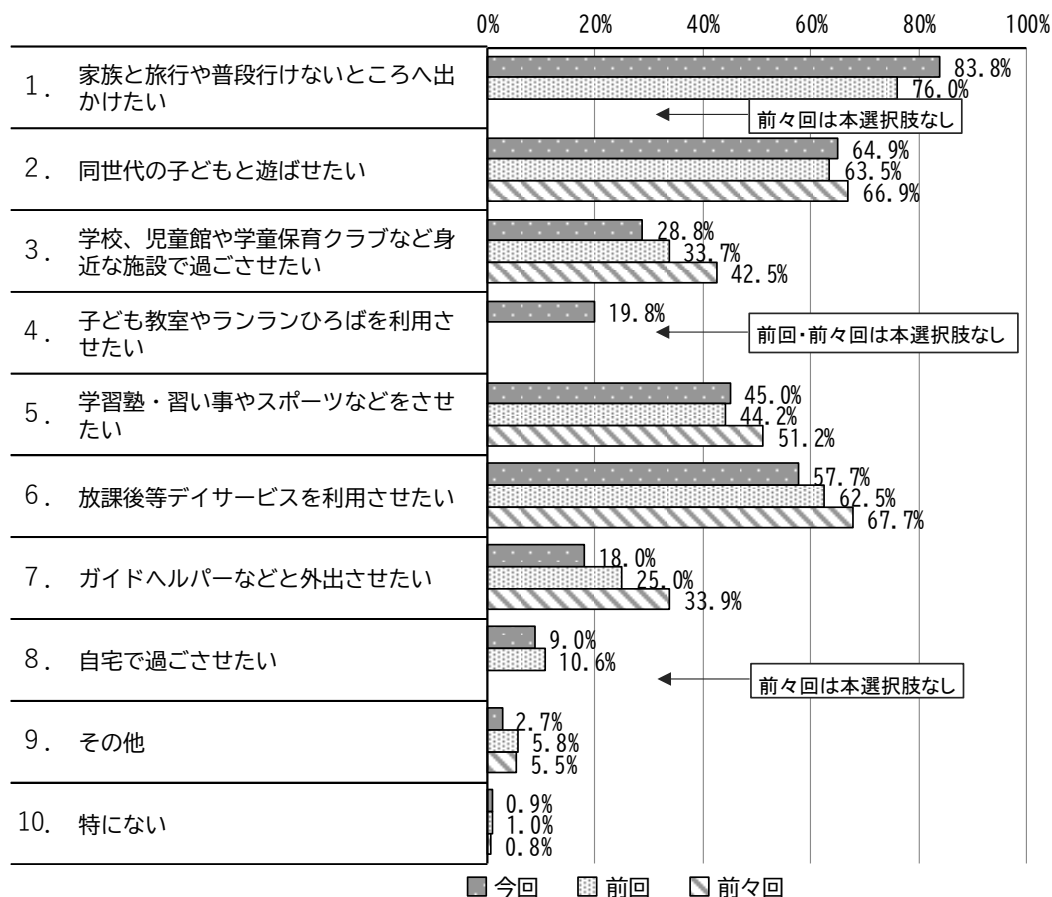
		7. 子ども教室やランドセルひろば(ランランひろば)を利用する	8. 放課後等デイサービスや地域活動支援センターを利用する	9. 一人では外出できないので、家にいる	10. ガイドヘルパーなどと外出する	11. 一人で過ごす	12. 特になにもしていない	13. その他
児童	人数	8	79	20	2	8	1	3
	構成比 (%)	7.2	71.2	18.0	1.8	7.2	0.9	2.7

★就学中のお子さんについてお聞きします。

問 17 放課後や夏休みなどの長期休業中に、お子さんをどのように過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「家族と旅行や普段行けないところへ出かけたい」が約 84%

・「家族と旅行や普段行けないところへ出かけたい」の割合が 83.8%と最も高く、次いで「同世代の子どもと遊ばせたい」の割合が 64.9%、「放課後等デイサービスを利用させたい」の割合が 57.7%となっている。



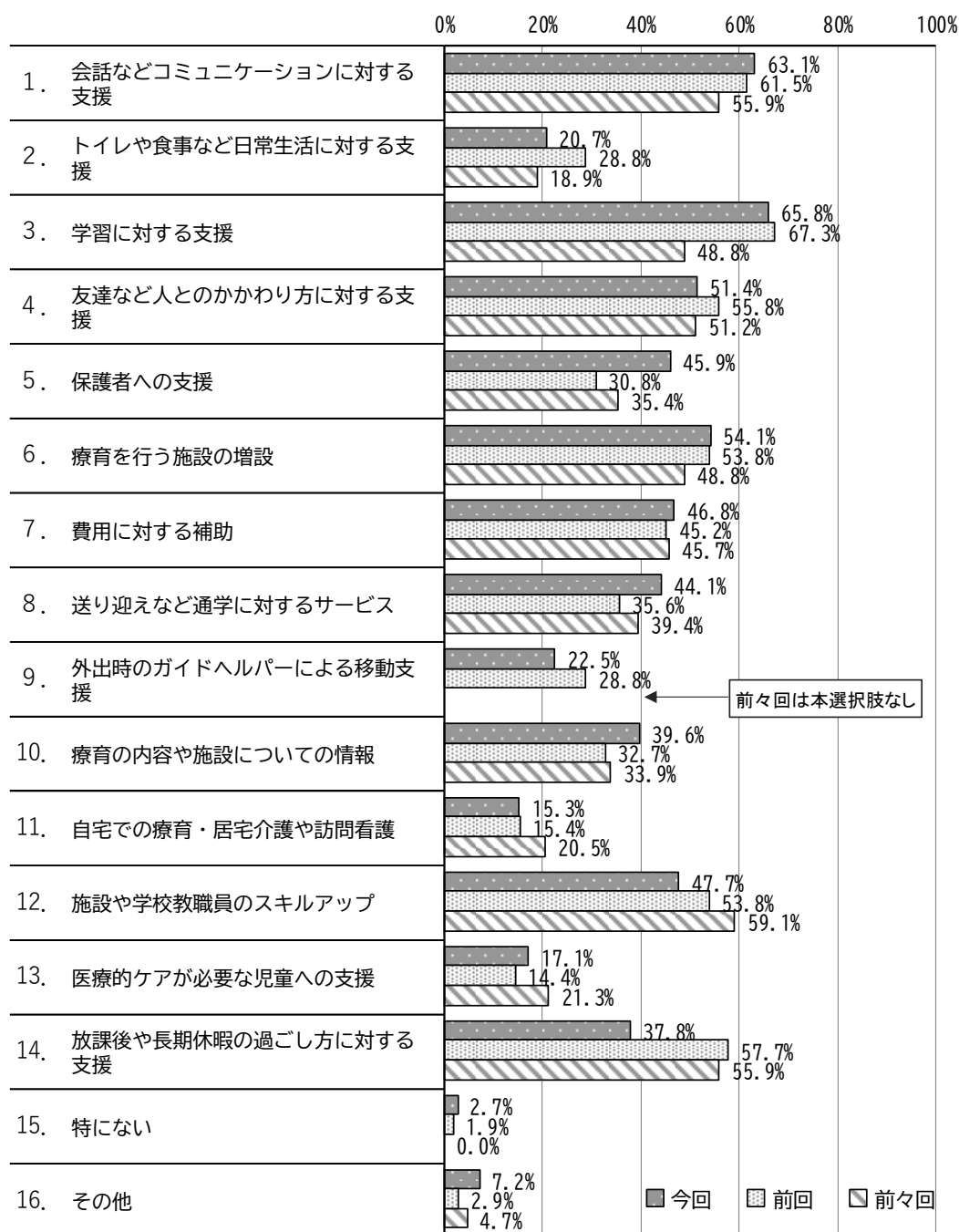
児童	回答者数										
	人数	1. 家族と旅行や普段行けないところへ出かけたい	2. 同世代の子どもと遊ばせたい	3. 学校、児童館や学童保育クラブなど身近な施設で過ごさせたい	4. 子ども教室やランランひろばを利用させたい	5. 学習塾・習い事やスポーツなどをさせたい	6. 放課後等デイサービスを利用させたい	7. ガイドヘルパーなどと外出させたい	8. 自宅で過ごさせたい	9. その他	10. 特にない
	111	93	72	32	22	50	64	20	10	3	1
		83.8	64.9	28.8	19.8	45.0	57.7	18.0	9.0	2.7	0.9

★就学中のお子さんについてお聞きします。

問 18 お子さんが受けている療育や支援について、充実させるべきだと思う点はありませんか。(あてはまるものすべてに○)

「学習に対する支援」が約 66%

- ・「学習に対する支援」の割合が 65.8%と最も高く、次いで「会話などコミュニケーションに対する支援」の割合が 63.1%、「療育を行う施設の増設」の割合が 54.1%となっている。
- ・前回と比較すると、「保護者への支援」の割合が増加している。一方、「放課後や長期休暇の過ごし方に対する支援」の割合が減少している。



		回答者数	1. 会話などコミュニケーションに対する支援	2. トイレや食事など日常生活に対する支援	3. 学習に対する支援	4. 友達など人とのかわり方に対する支援	5. 保護者への支援	6. 療育を行う施設の増設	7. 費用に対する補助	8. 送り迎えなど通学に対するサービス
児童	人数	111	70	23	73	57	51	60	52	49
	構成比 (%)		63.1	20.7	65.8	51.4	45.9	54.1	46.8	44.1

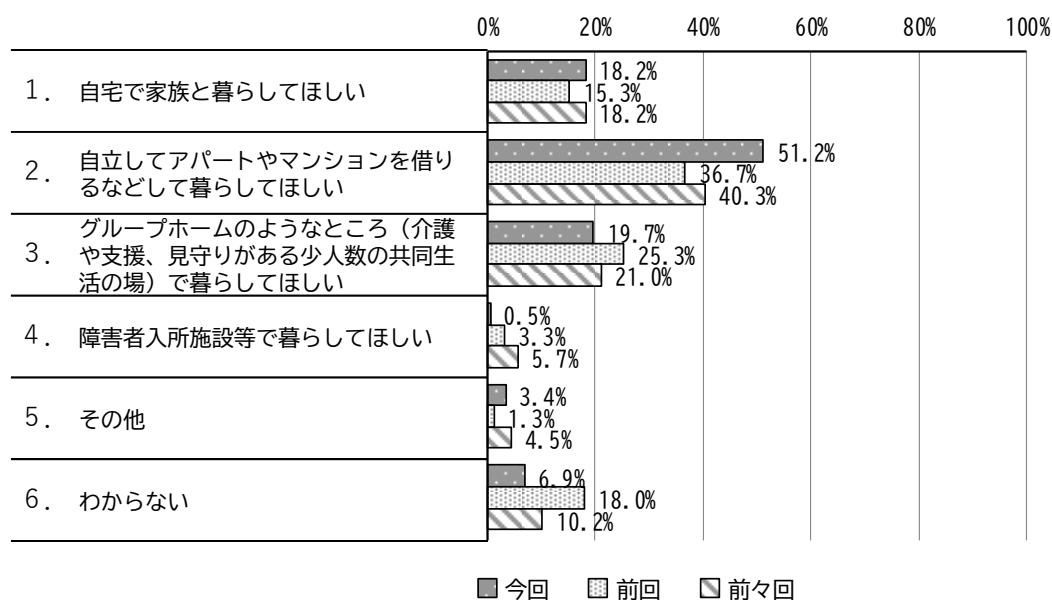
		9. 外出時のガイドヘルパーによる移動支援	10. 療育の内容や施設についての情報	11. 自宅での療育・居宅介護や訪問看護	12. 施設や学校教職員のスキルアップ	13. 医療的ケアが必要な児童への支援	14. 放課後や長期休暇の過ごし方に対する支援	15. 特にない	16. その他
児童	人数	25	44	17	53	19	42	3	8
	構成比 (%)	22.5	39.6	15.3	47.7	17.1	37.8	2.7	7.2

お子さんの将来のことについて（問 19～問 22）

問 19 お子さんには、将来どのように暮らしてほしいですか。（1つに○）

「自立してアパートやマンションを借りるなどして暮らしてほしい」が約 51%

- ・「自立してアパートやマンションを借りるなどして暮らしてほしい」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「グループホームのようなところ（介護や支援、見守りがある少人数の共同生活の場）で暮らしてほしい」の割合が 19.7%、「自宅で家族と暮らしてほしい」の割合が 18.2%となっている。
- ・前回と比較すると、「自立してアパートやマンションを借りるなどして暮らしてほしい」の割合が増加している。一方、「わからない」の割合が減少している。

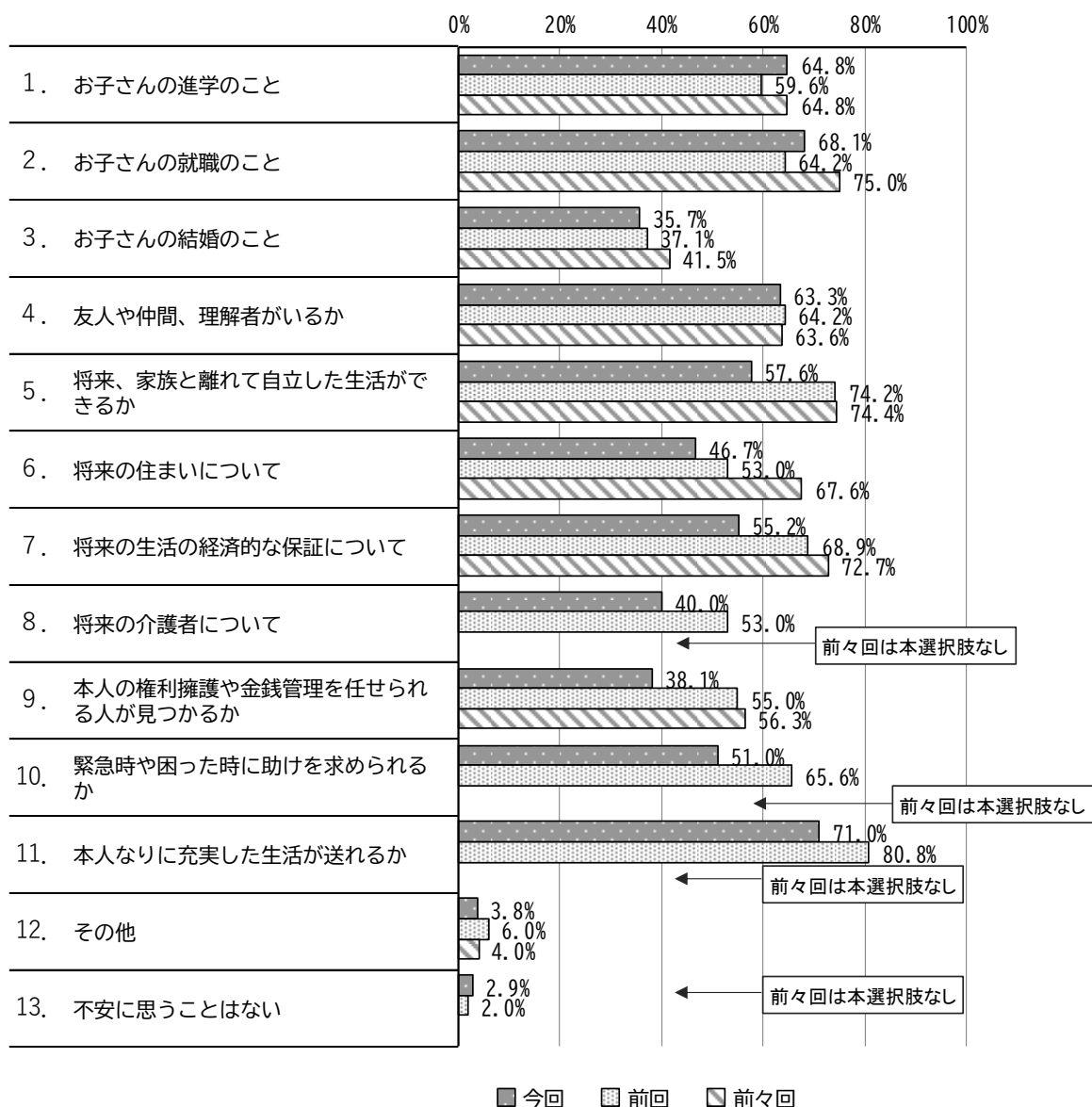


		回答者数	1. 自宅で家族と暮らしてほしい	2. 自立してアパートやマンションを借りるなどして暮らしてほしい	3. グループホームのようなところ（介護や支援、見守りがある少人数の共同生活の場）で暮らしてほしい	4. 障害者入所施設等で暮らしてほしい	5. その他	6. わからない
児童	人数	203	37	104	40	1	7	14
	構成比 (%)		18.2	51.2	19.7	0.5	3.4	6.9

問 20 お子さんの将来のことで、不安に思うことはありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「本人なりに充実した生活が送れるか」が 71%
 「お子さんの進学のこと」が約 65%

- ・「本人なりに充実した生活が送れるか」の割合が 71.0%と最も高く、次いで「お子さんの就職のこと」の割合が 68.1%、「お子さんの進学のこと」の割合が 64.8%となっている。
- ・前回と比較すると、「将来、家族と離れて自立した生活ができるか」「本人の権利擁護や金銭管理を任せられる人が見つかるか」「緊急時や困った時に助けを求められるか」の割合が減少している。

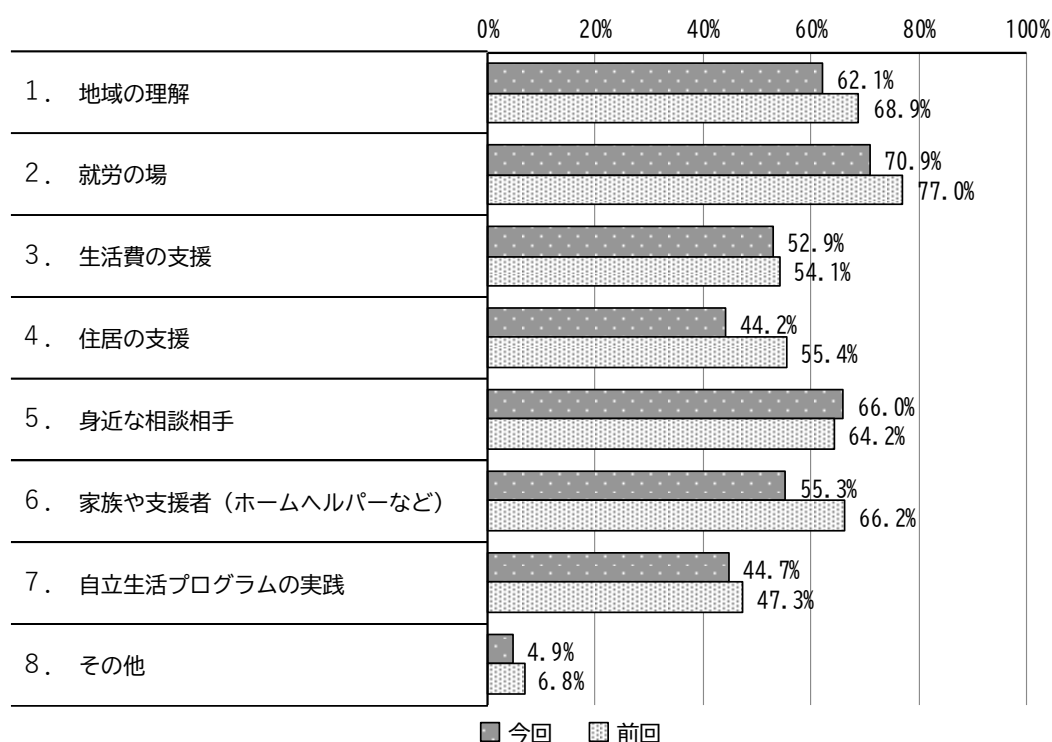


		回答者数	1. お子さんの進学のこと	2. お子さんの就職のこと	3. お子さんの結婚のこと	4. 友人や仲間、理解者がいるか	5. 将来、家族と離れて自立した生活ができるか	6. 将来の住まいについて
児童	人数	210	136	143	75	133	121	98
	構成比 (%)		64.8	68.1	35.7	63.3	57.6	46.7
		7. 将来の生活の経済的な保証について	8. 将来の介護者について	9. 本人の権利擁護や金銭管理を任せられる人が見つかるか	10. 緊急時や困った時に助けを求められるか	11. 本人なりに充実した生活が送れるか	12. その他	13. 不安に思うことはない
児童	人数	116	84	80	107	149	8	6
	構成比 (%)	55.2	40.0	38.1	51.0	71.0	3.8	2.9

問 21 お子さんが、将来、地域で自立して生活するために、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「就労の場」が約 71%
「身近な相談相手」が 66%

- ・「就労の場」の割合が 70.9%と最も高く、次いで「身近な相談相手」の割合が 66.0%、「地域の理解」の割合が 62.1%となっている。
- ・前回と比較すると、「住居の支援」「家族や支援者（ホームヘルパーなど）」の割合が減少している。

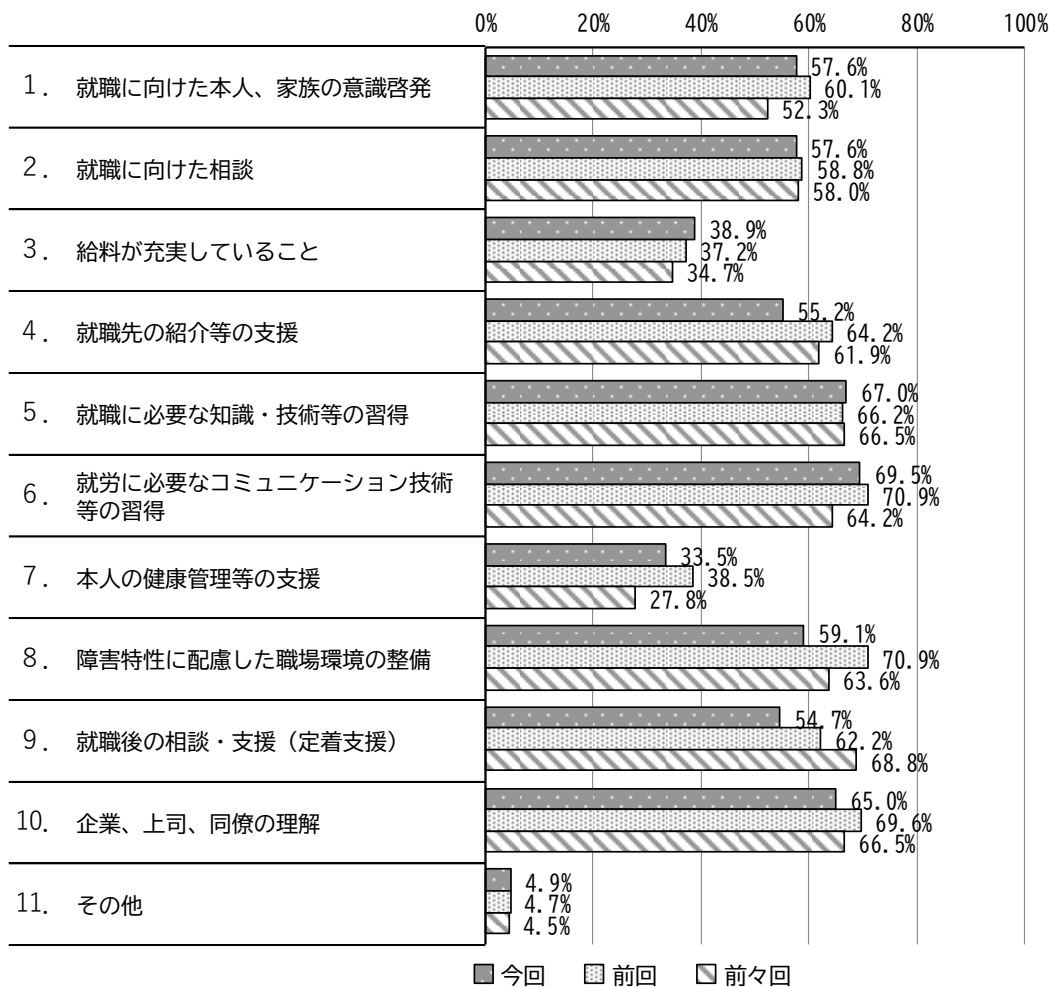


		回答者数	1. 地域の理解	2. 就労の場	3. 生活費の支援	4. 住居の支援	5. 身近な相談相手	6. 家族や支援者（ホームヘルパーなど）	7. 自立生活プログラムの実践	8. その他
児童	人数	206	128	146	109	91	136	114	92	10
	構成比 (%)		62.1	70.9	52.9	44.2	66.0	55.3	44.7	4.9

問 22 お子さんが将来仕事に就くために重要だと思われることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「就労に必要なコミュニケーション技術等の習得」が約 70%
「就職に必要な知識・技術等の習得」が 67%

- ・「就労に必要なコミュニケーション技術等の習得」の割合が 69.5%と最も高く、次いで「就職に必要な知識・技術等の習得」の割合が 67.0%、「企業、上司、同僚の理解」の割合が 65.0%となっている。
- ・前回と比較すると、「障害特性に配慮した職場環境の整備」の割合が減少している。



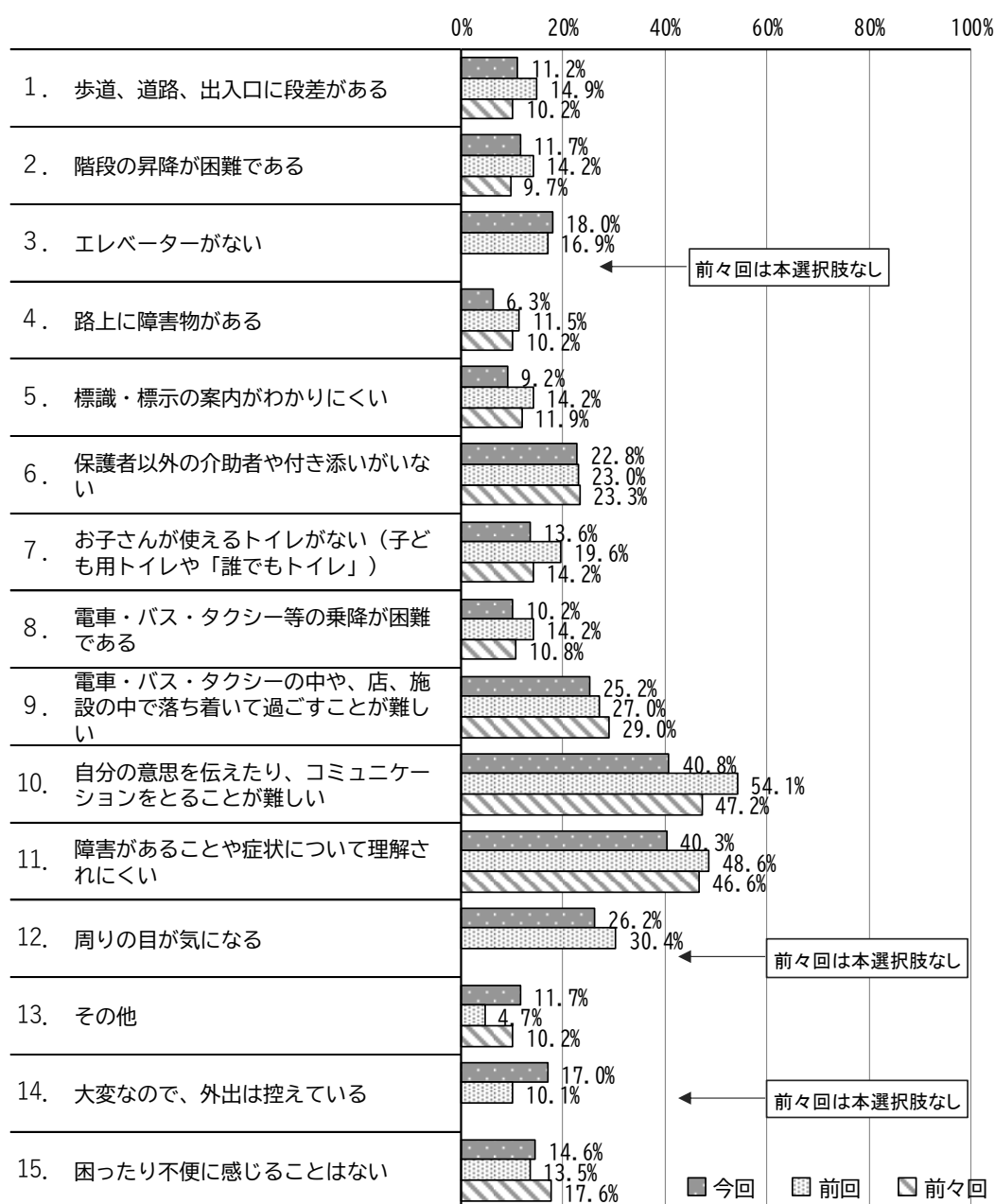
児童	回答者数	1. 就職に向けた本人、家族の意識啓発	2. 就職に向けた相談	3. 給料が充実していること	4. 就職先の紹介等の支援	5. 就職に必要な知識・技術等の習得	6. 就労に必要なコミュニケーション技術等の習得	7. 本人の健康管理等の支援	8. 障害特性に配慮した職場環境の整備	9. 就職後の相談・支援（定着支援）	10. 企業、上司、同僚の理解	11. その他
		人数	203	117	117	79	112	136	141	68	120	111
構成比 (%)		57.6	57.6	38.9	55.2	67.0	69.5	33.5	59.1	54.7	65.0	4.9

お子さんとの外出について（問 23～問 24）

問 23 お子さんと一緒に、またはお子さんがひとりで外出するときに、困ったり不便を感じたりすることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい」が約 41%、
「障害があることや症状について理解されにくい」が約 40%

- ・「自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい」の割合が 40.8%と最も高く、次いで「障害があることや症状について理解されにくい」の割合が 40.3%、「周りの目が気になる」の割合が 26.2%となっている。
- ・前回と比較すると、「自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい」の割合が減少している。

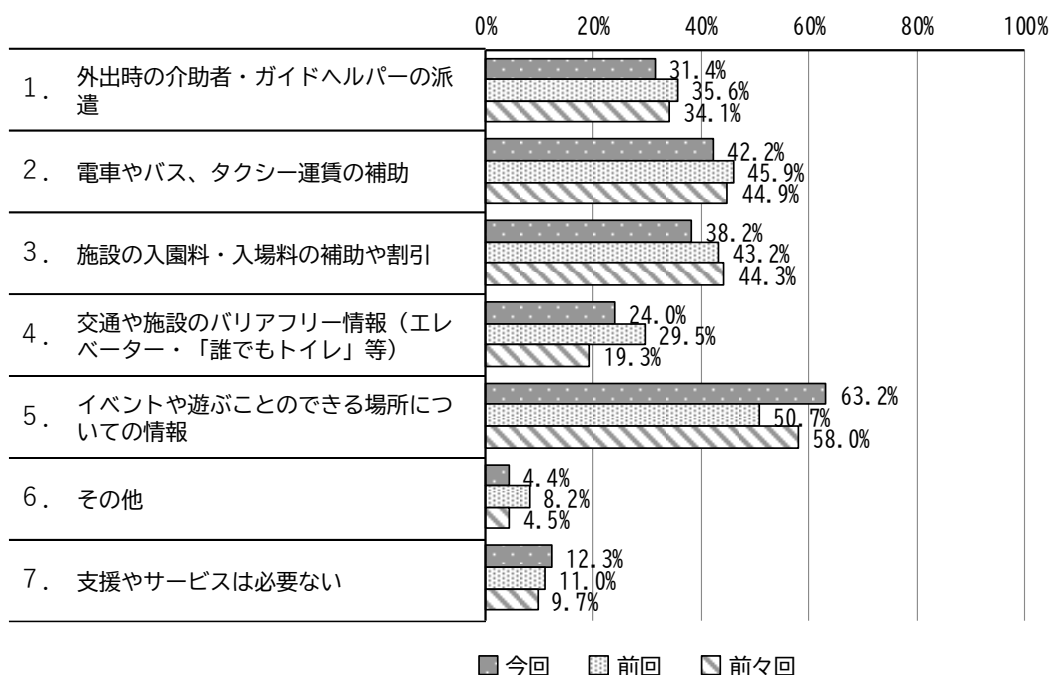


	回答者数		1. 歩道、道路、出入口に段差がある	2. 階段の昇降が困難である	3. エレベーターがない	4. 路上に障害物がある	5. 標識・標示の案内がわかりにくい	6. 保護者以外の介助者や付き添いがいない	7. お子さんが使えるトイレがない（子ども用トイレや「誰でもトイレ」）
児童	人数	206	23	24	37	13	19	47	28
	構成比 (%)		11.2	11.7	18.0	6.3	9.2	22.8	13.6
	8. 電車・バス・タクシー等の乗降が困難である		9. 電車・バス・タクシーの中や、店、施設の中で落ち着いて過ごすことが難しい	10. 自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい	11. 障害があることや症状について理解されにくい	12. 周りの目が気になる	13. その他	14. 大変なので、外出は控えている	15. 困ったり不便に感じることはない
児童	人数	21	52	84	83	54	24	35	30
	構成比 (%)	10.2	25.2	40.8	40.3	26.2	11.7	17.0	14.6

問 24 お子さんとの外出時に、どのような支援やサービスがあると良いと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「イベントや遊ぶことのできる場所についての情報」が約 63%

- ・「イベントや遊ぶことのできる場所についての情報」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「電車やバス、タクシー運賃の補助」の割合が 42.2%、「施設の入園料・入場料の補助や割引」の割合が 38.2%となっている。
- ・前回と比較すると、「イベントや遊ぶことのできる場所についての情報」の割合が増加している。



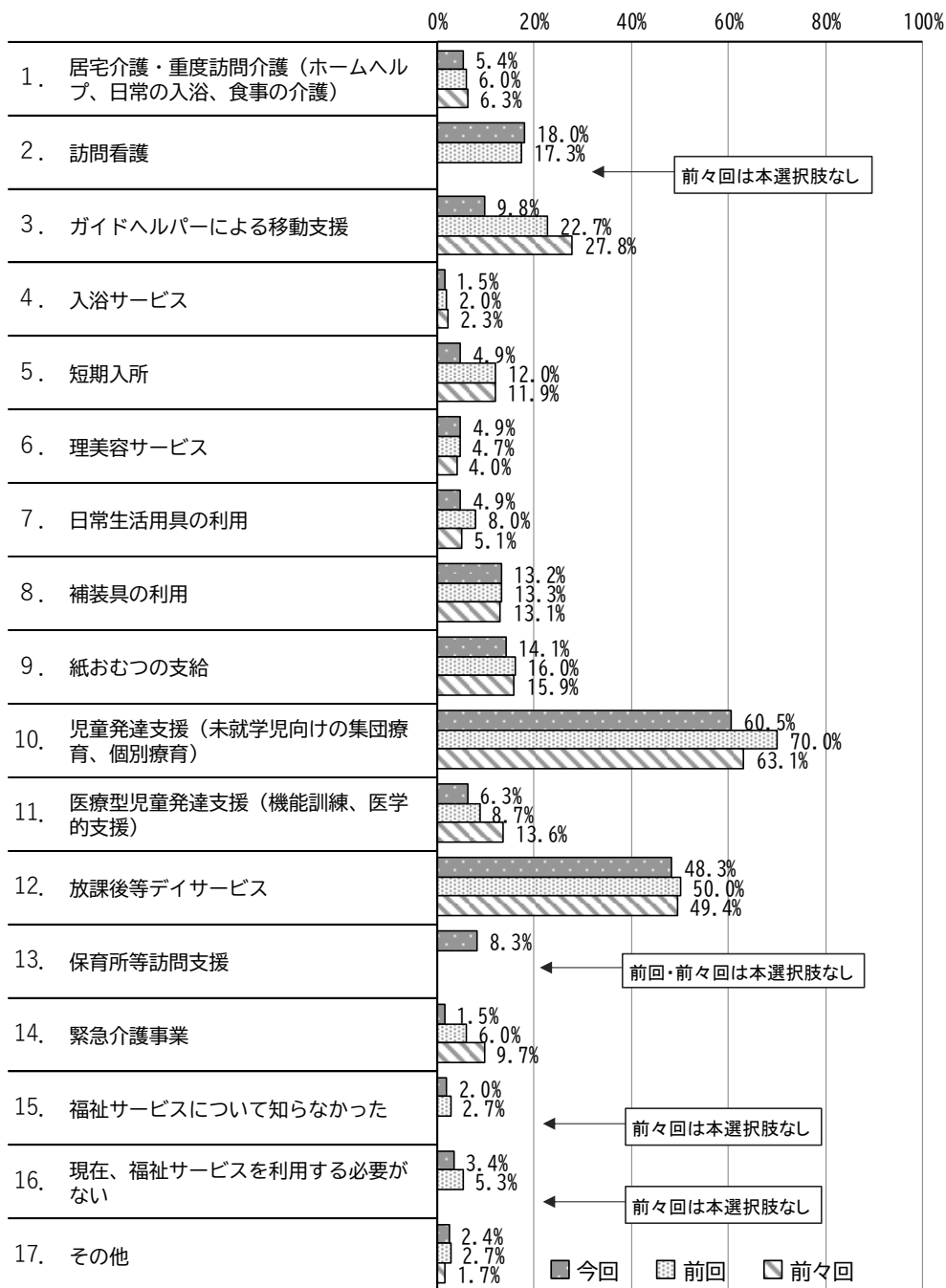
児童	回答者数								
	人数	1. 外出時の介助者・ガイドヘルパーの派遣	2. 電車やバス、タクシー運賃の補助	3. 施設の入園料・入場料の補助や割引	4. 交通や施設のバリアフリー情報（エレベーター・「誰でもトイレ」等）	5. イベントや遊ぶことのできる場所についての情報	6. その他	7. 支援やサービスは必要ない	
	204	64	86	78	49	129	9	25	
	構成比 (%)	31.4	42.2	38.2	24.0	63.2	4.4	12.3	

福祉サービスについて（問 25～問 27）

問 25 お子さんは、以下の福祉サービスを利用していますか（利用したことがありますか）。（あてはまるものすべてに○）

「児童発達支援」が約 61%

- ・「児童発達支援（未就学児向けの集団療育、個別療育）」の割合が 60.5%と最も高く、次いで「放課後等デイサービス」の割合が 48.3%、「訪問看護」の割合が 18.0%となっている。
- ・前回と比較すると、「ガイドヘルパーによる移動支援」の割合が減少している。



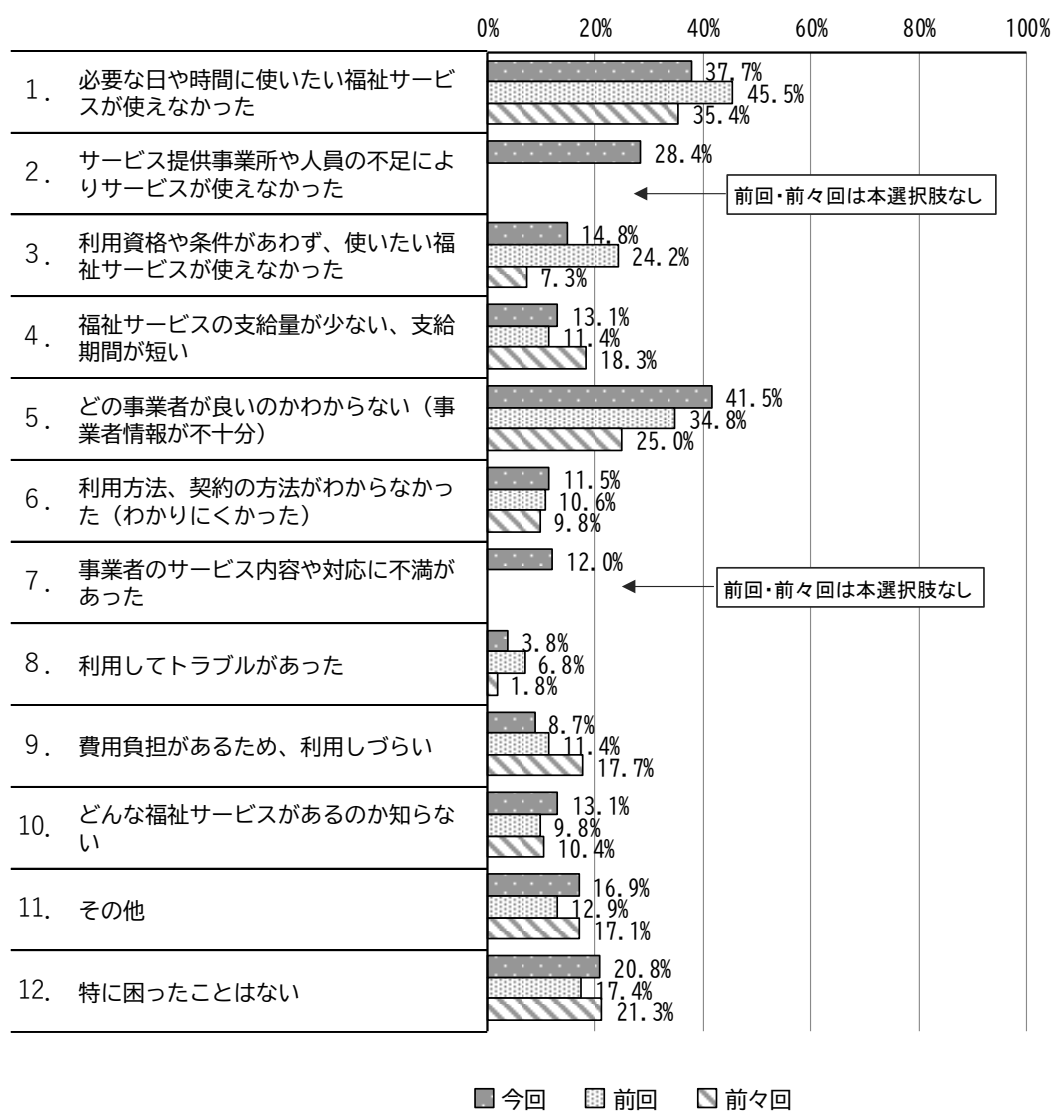
		回答者数	1. 居宅介護・重度訪問介護（ホームヘルプ、日常の入浴、食事の介護）	2. 訪問看護	3. ガイドヘルパーによる移動支援	4. 入浴サービス	5. 短期入所	6. 理美容サービス	7. 日常生活用具の利用	8. 補装具の利用
児童	人数	205	11	37	20	3	10	10	10	27
	構成比 (%)		5.4	18.0	9.8	1.5	4.9	4.9	4.9	13.2
		9. 紙おむつの支給	10. 児童発達支援（未就学児向けの集団療育、個別療育）	11. 医療型児童発達支援（機能訓練、医学的支援）	12. 放課後等デイサービス	13. 保育所等訪問支援	14. 緊急介護事業	15. 福祉サービスについて知らなかった	16. 現在、福祉サービスを利用する必要がない	17. その他
児童	人数	29	124	13	99	17	3	4	7	5
	構成比 (%)	14.1	60.5	6.3	48.3	8.3	1.5	2.0	3.4	2.4

★問 25 の福祉サービスを利用しているお子さんについてお聞きします。

問 26 福祉サービスを利用するとき何か困ったことはありましたか。
(あてはまるものすべてに○)

「どの事業者が良いのかわからない」が約 42%
「必要な日や時間に使いたい福祉サービスが使えなかった」が約 38%

・「どの事業者が良いのかわからない（事業者情報が不十分）」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「必要な日や時間に使いたい福祉サービスが使えなかった」の割合が 37.7%、「サービス提供事業所や人員の不足によりサービスが使えなかった」の割合が 28.4%となっている。



	回答者数		1. 必要な日や時間に使用したい福祉サービスが使えなかった	2. サービス提供事業所や人員の不足によりサービスが使えなかった	3. 利用資格や条件があわず、使用したい福祉サービスが使えなかった	4. 福祉サービスの支給量が少ない、支給期間が短い	5. どの事業者が良いのかわからない(事業者情報が不十分)	6. 利用方法、契約の方法がわからなかった(わかりにくかった)
児童	人数	183	69	52	27	24	76	21
	構成比 (%)		37.7	28.4	14.8	13.1	41.5	11.5
			7. 事業者のサービス内容や対応に不満があった	8. 利用してトラブルがあった	9. 費用負担があるため、利用しづらい	10. どのような福祉サービスがあるのか知らない	11. その他	12. 特に困ったことはない
児童	人数	22	7	16	24	31	38	
	構成比 (%)	12.0	3.8	8.7	13.1	16.9	20.8	

問 27 今後、以下の福祉サービスの中で利用したいサービスはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

「放課後等デイサービス」が約 57%

- ・「放課後等デイサービス」の割合が 57.2%と最も高く、次いで「児童発達支援（未就学児向けの集団療育、個別療育）」の割合が 31.3%、「ガイドヘルパーによる移動支援」の割合が 21.9%となっている。
- ・前回と比較すると、「ガイドヘルパーによる移動支援」の割合が減少している。



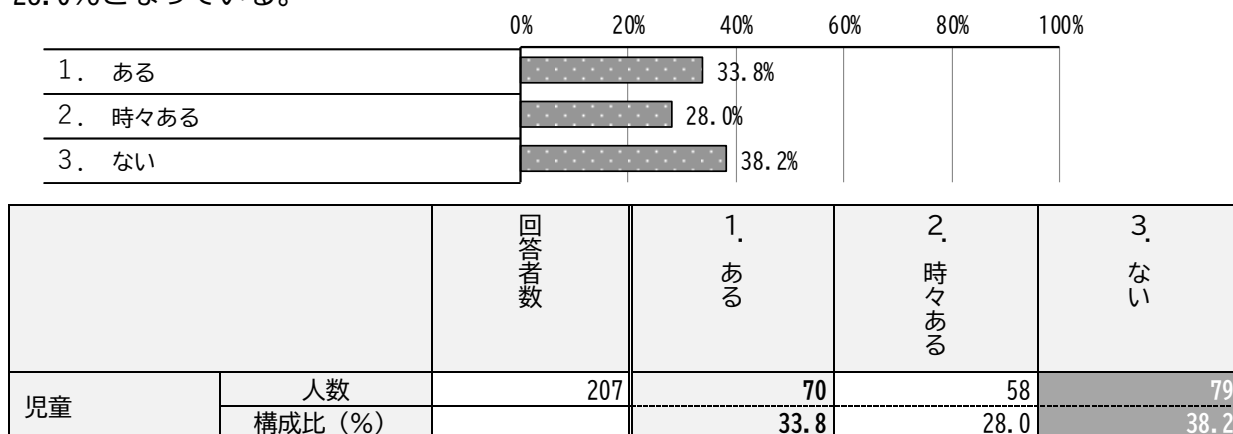
		回答者数	1. 居宅介護・重度訪問介護（ホームヘルプ、日常の入浴、食事の介護）	2. 訪問看護	3. ガイドヘルパーによる移動支援	4. 入浴サービス	5. 短期入所	6. 理美容サービス	7. 日常生活用具の利用	8. 補装具の利用
児童	人数	201	9	18	44	6	35	20	20	22
	構成比 (%)		4.5	9.0	21.9	3.0	17.4	10.0	10.0	10.9
		9. 紙おむつの支給	10. 児童発達支援（未就学児向けの集団療育、個別療育）	11. 医療型児童発達支援（機能訓練、医学的支援）	12. 放課後等デイサービス	13. 保育所等訪問支援	14. 緊急介護事業	15. 利用したいサービスがない	16. その他	17. わからない
児童	人数	21	63	27	115	28	11	11	8	9
	構成比 (%)	10.4	31.3	13.4	57.2	13.9	5.5	5.5	4.0	4.5

コミュニケーションや情報の入手方法について（問 28～問 30）

問 28 お子さんが他人とのコミュニケーションに制限を受けていると思うことがありますか。（1つに○）

他人とのコミュニケーションに制限を受けていることが「ない」が約 38%

・「ない」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「ある」の割合が 33.8%、「時々ある」の割合が 28.0%となっている。

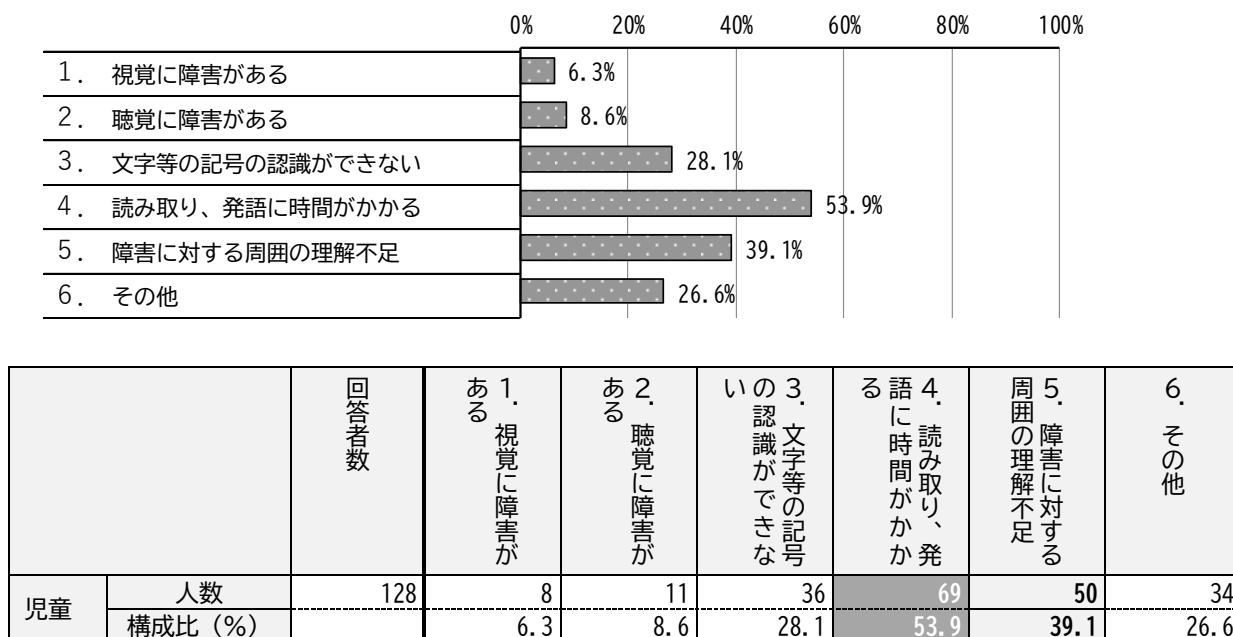


★問 28 で「1. ある」「2. 時々ある」と回答した方におたずねします。

問 28-A お子さんが他人とのコミュニケーションを確保するに当たり支障となっていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「読み取り、発語に時間がかかる」が約 54%

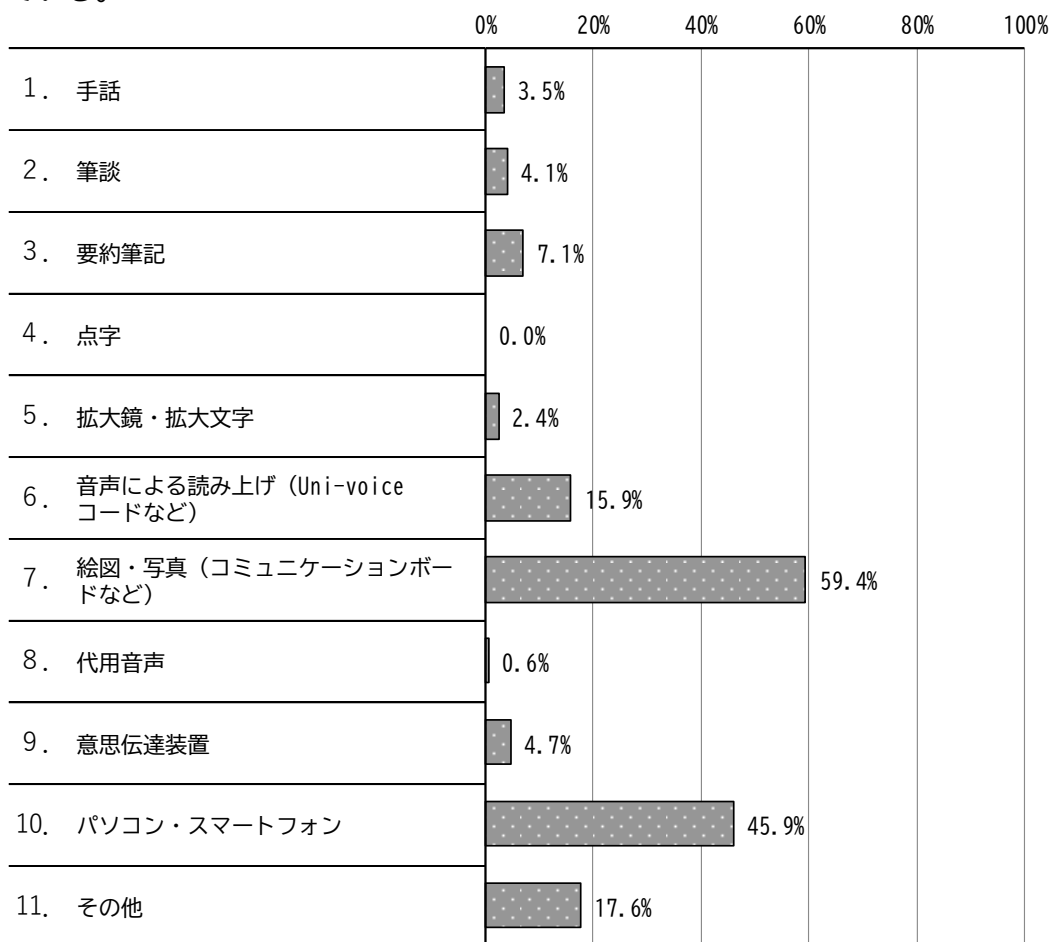
・「読み取り、発語に時間がかかる」の割合が 53.9%と最も高く、次いで「障害に対する周囲の理解不足」の割合が 39.1%、「文字等の記号の認識ができない」の割合が 28.1%となっている。



問 29 情報発信や情報取得に当たり、お子さんに適した方法は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

情報発信や情報取得に適した方法は「絵図・写真」が約 59%

- ・「絵図・写真（コミュニケーションボードなど）」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「パソコン・スマートフォン」の割合が 45.9%、「音声による読み上げ（Uni-voice コードなど）」の割合が 15.9%となっている。
- ・その他としては、主に「保護者や友人等によるサポートを通じて」という趣旨の内容が記載されている。

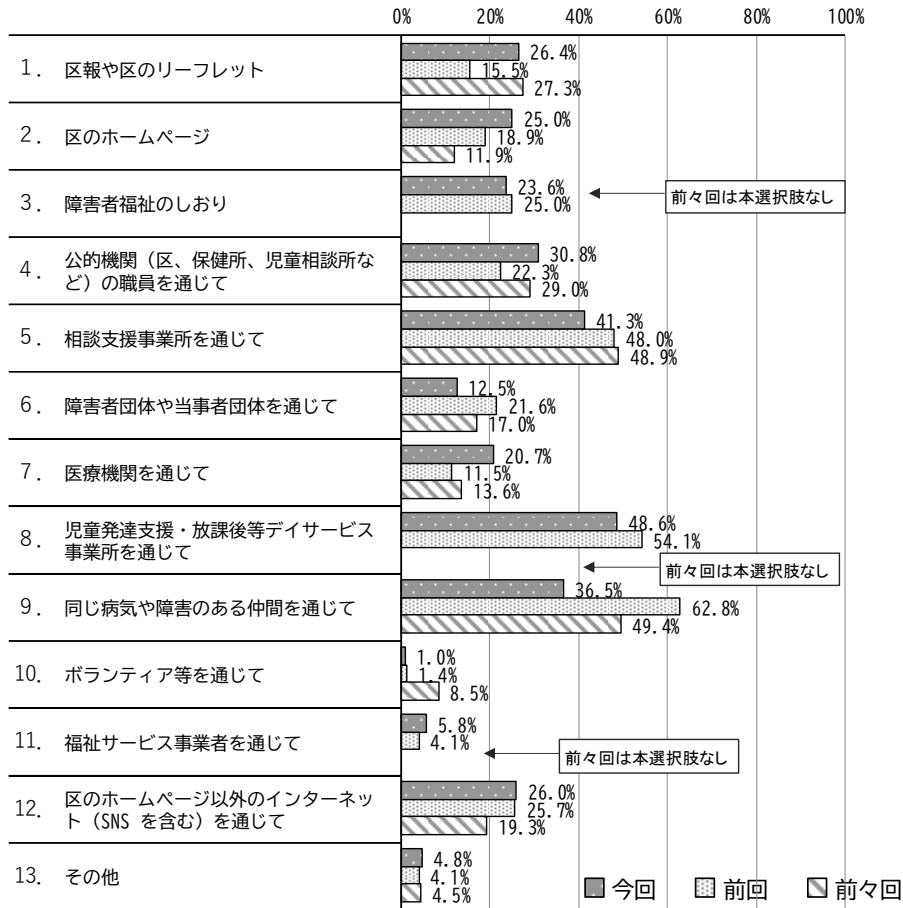


	回答者数	1. 手話	2. 筆談	3. 要約筆記	4. 点字	5. 拡大鏡・拡大文字	6. 音声による読み上げ (Uni-voice コードなど)	7. 絵図・写真 (コミュニケーションボードなど)	8. 代用音声	9. 意思伝達装置	10. パソコン・スマートフォン	11. その他
		人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数
児童	170	6	7	12	-	4	27	101	1	8	78	30
		3.5	4.1	7.1	-	2.4	15.9	59.4	0.6	4.7	45.9	17.6

問 30 発達に関する不安や障害等のことやお子さんが見えるサービスのことについて、どのように（どこで）情報を得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

「児童発達支援・放課後等デイサービス事業所を通じて」が約 49%

- ・「児童発達支援・放課後等デイサービス事業所を通じて」の割合が 48.6%と最も高く、次いで「相談支援事業所を通じて」の割合が 41.3%、「同じ病気や障害のある仲間を通じて」の割合が 36.5%となっている。
- ・前回と比較すると、「区報や区のリーフレット」の割合が増加している。一方、「同じ病気や障害のある仲間を通じて」の割合が減少している。



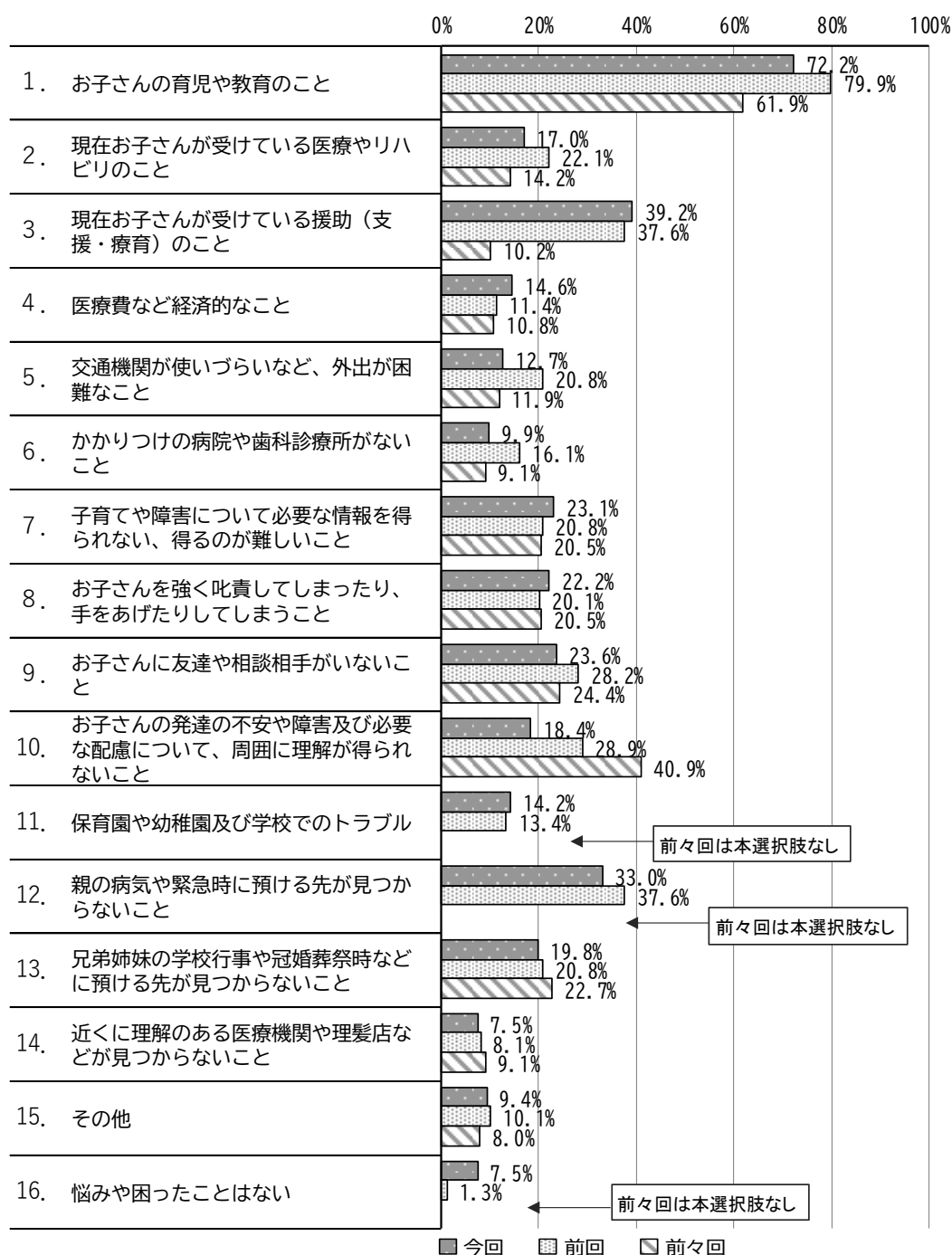
		回答者数	1. 区報や区のリーフレット	2. 区のホームページ	3. 障害者福祉のしおり	4. 公的機関（区、保健所、児童相談所など）の職員を通じて	5. 相談支援事業所を通じて	6. 障害者団体や当事者団体を通じて
児童	人数	208	55	52	49	64	86	26
	構成比 (%)		26.4	25.0	23.6	30.8	41.3	12.5
		7. 医療機関を通じて	8. 児童発達支援・放課後等デイサービス事業所を通じて	9. 同じ病気や障害のある仲間を通じて	10. ボランティア等を通じて	11. 福祉サービス事業者を通じて	12. 区のホームページ以外のインターネット（SNSを含む）を通じて	13. その他
児童	人数	43	101	76	2	12	54	10
	構成比 (%)	20.7	48.6	36.5	1.0	5.8	26.0	4.8

相談について（問 31～問 33）

問 31 お子さんのことで悩みや困ったことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

「お子さんの育児や教育のこと」が約 72%

- ・「お子さんの育児や教育のこと」の割合が 72.2%と最も高く、次いで「現在お子さんが受けている援助（支援・療育）のこと」の割合が 39.2%、「親の病気や緊急時に預ける先が見つからないこと」の割合が 33.0%となっている。
- ・前回と比較すると、「お子さんの発達の不安や障害及び必要な配慮について、周囲に理解が得られないこと」の割合が減少している。

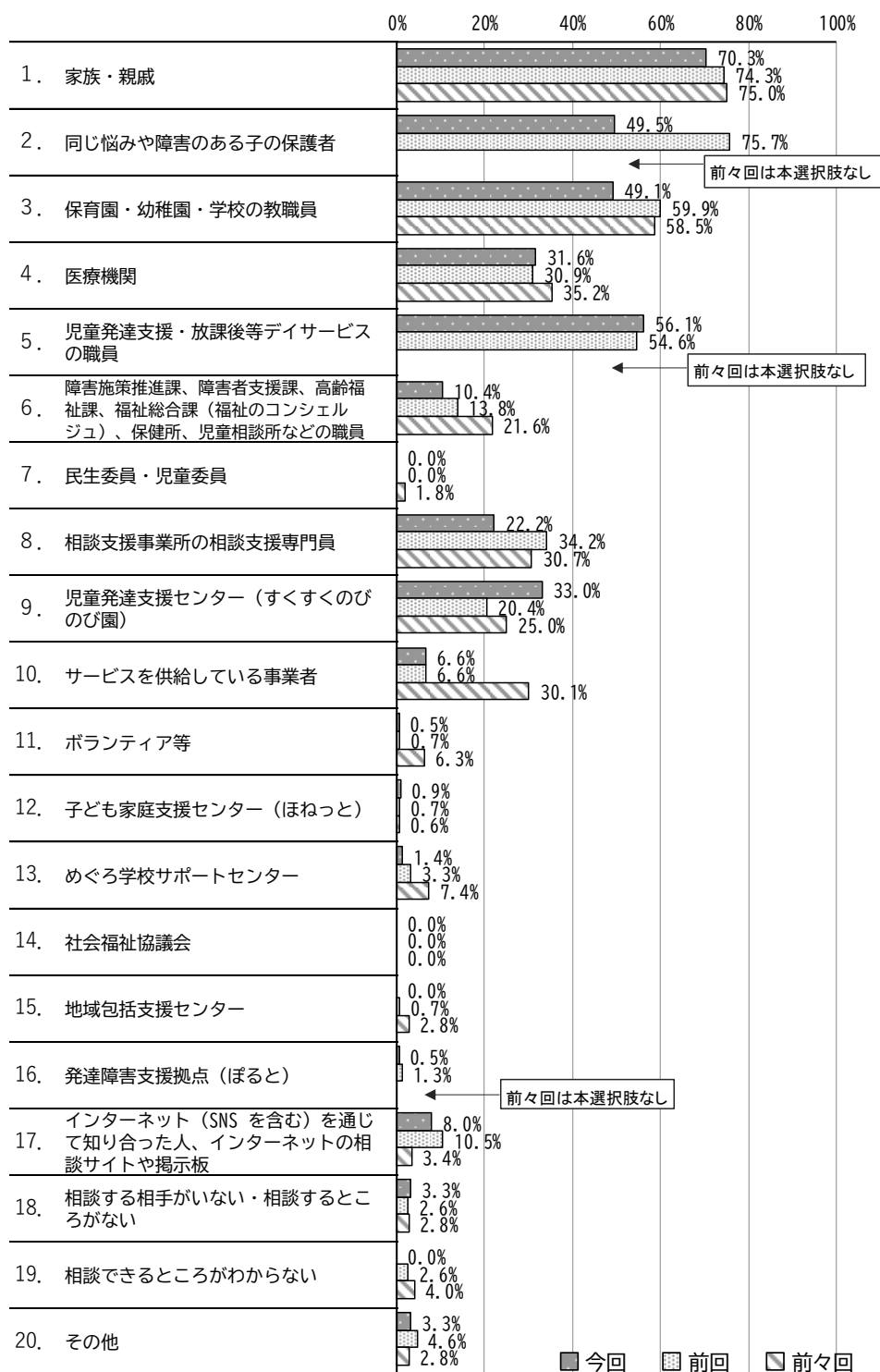


	回答者数		1. お子さんの育児や教育のこと	2. 現在お子さんが受けている医療やリハビリのこと	3. 現在お子さんが受けている援助(支援・療育)のこと	4. 医療費など経済的なこと	5. 交通機関が使いづらいなど、外出が困難なこと	6. かかりつけの病院や歯科診療所がないこと	7. 子育てや障害について必要な情報を得られない、得るのが難しいこと	8. お子さんを強く叱責してしまったり、手をあげたりしてしまうこと
児童	人数	212	153	36	83	31	27	21	49	47
	構成比 (%)		72.2	17.0	39.2	14.6	12.7	9.9	23.1	22.2
			9. お子さんに友達や相談相手がないこと	10. お子さんの発達の不安や障害及び必要な配慮について、周囲に理解が得られないこと	11. 保育園や幼稚園及び学校でのトラブル	12. 親の病気や緊急時に預ける先が見つからないこと	13. 兄弟姉妹の学校行事や冠婚葬祭時などに預ける先が見つからないこと	14. 近くに理解のある医療機関や理髪店などが見つからないこと	15. その他	16. 悩みや困ったことはない
児童	人数	50	39	30	70	42	16	20	16	
	構成比 (%)	23.6	18.4	14.2	33.0	19.8	7.5	9.4	7.5	

問 32 お子さんのことで悩んだり困っているときに相談する相手は誰（どこ）ですか。
（あてはまるものすべてに○）

「家族・親戚」が約 70%

- ・「家族・親戚」の割合が 70.3%と最も高く、次いで「児童発達支援・放課後等デイサービスの職員」の割合が 56.1%、「同じ悩みや障害のある子の保護者」の割合が 49.5%となっている。
- ・前回と比較すると、「児童発達支援センター（すくすくのびのび園）」の割合が増加している。一方、「同じ悩みや障害のある子の保護者」「相談支援事業所の相談支援専門員」の割合が減少している。

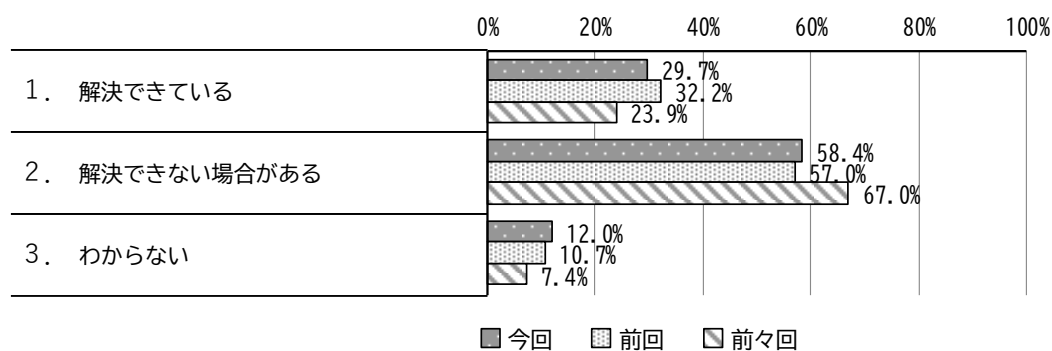


	回答者数	1. 家族・親戚	2. 同じ悩みや障害のある子の保護者	3. 保育園・幼稚園・学校の教職員	4. 医療機関	5. 児童発達支援・放課後等デイサービスの職員	6. 障害施策推進課、障害者支援課、高齢福祉課、福祉総合課(福祉のコンシェルジュ)、保健所、児童相談所などの職員	7. 民生委員・児童委員	8. 相談支援事業所の相談支援専門員	9. 児童発達支援センター(すくすくのびのび園)	10. サービスを供給している事業者	
児童	人数	212	149	105	104	67	119	22	-	47	70	14
	構成比 (%)		70.3	49.5	49.1	31.6	56.1	10.4	-	22.2	33.0	6.6
		11. ボランティア等	12. 子ども家庭支援センター(ほねっと)	13. めぐる学校サポートセンター	14. 社会福祉協議会	15. 地域包括支援センター	16. 発達障害支援拠点(ほると)	17. インターネット(SNSを含む)を通じて知り合った人、インターネットの相談サイトや掲示板	18. 相談する相手がいない・相談するところがない	19. 相談できるところがわからない	20. その他	
児童	人数	1	2	3	-	-	1	17	7	-	7	
	構成比 (%)	0.5	0.9	1.4	-	-	0.5	8.0	3.3	-	3.3	

問 33 問 32 で回答した相談先に相談することで、悩みや困ったことは解決できていますか。(1つに○)

「解決できない場合がある」が約 58%

・「解決できない場合がある」の割合が 58.4%と最も高く、次いで「解決できている」の割合が 29.7%、「わからない」の割合が 12.0%となっている。



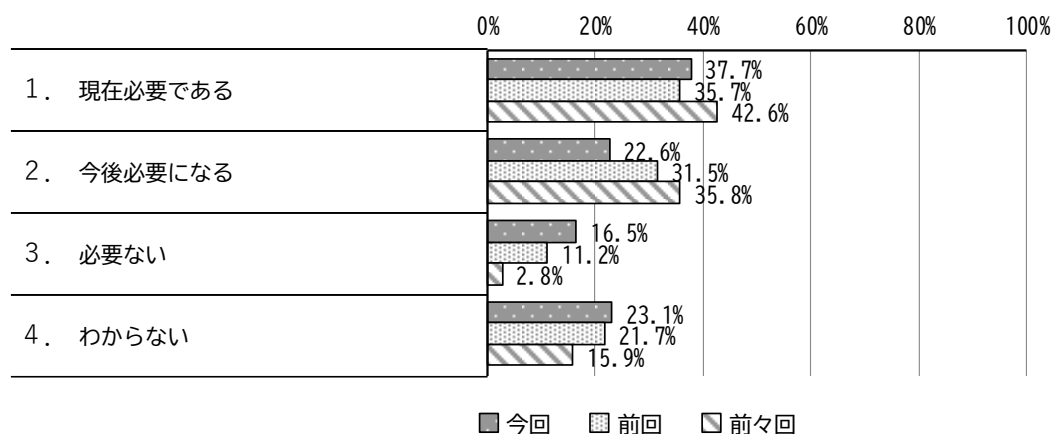
		回答者数	1. 解決できている	2. 解決できない場合がある	3. わからない
児童	人数	209	62	122	25
	構成比 (%)		29.7	58.4	12.0

保護者・家族への支援について（問 34）

問 34 保護者や家族への支援は必要ですか。（1つに○）

「現在必要である」が約 38%

・「現在必要である」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 23.1%、「今後必要になる」の割合が 22.6%となっている。



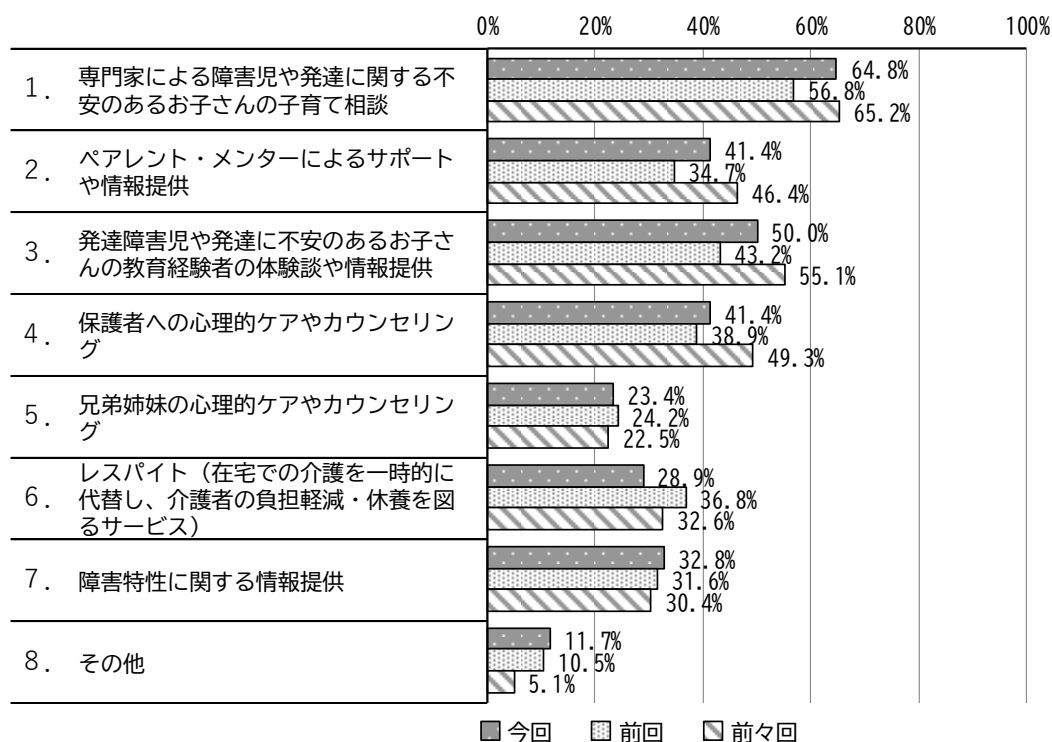
		回答者数	1. 現在必要である	2. 今後必要になる	3. 必要ない	4. わからない
児童	人数	212	80	48	35	49
	構成比 (%)		37.7	22.6	16.5	23.1

★問 34 で、「1. 現在必要である」または「2. 今後必要になる」と回答した方にお聞きします。

問 34-A どのような支援が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

「専門家への子育て相談」が約 65%

・「専門家による障害児や発達に関する不安のあるお子さんの子育て相談」の割合が 64.8%と最も高く、次いで「発達障害児や発達に不安のあるお子さんの教育経験者の体験談や情報提供」の割合が 50.0%、「ペアレント・メンターによるサポートや情報提供」「保護者への心理的ケアやカウンセリング」の割合が 41.4%となっている。



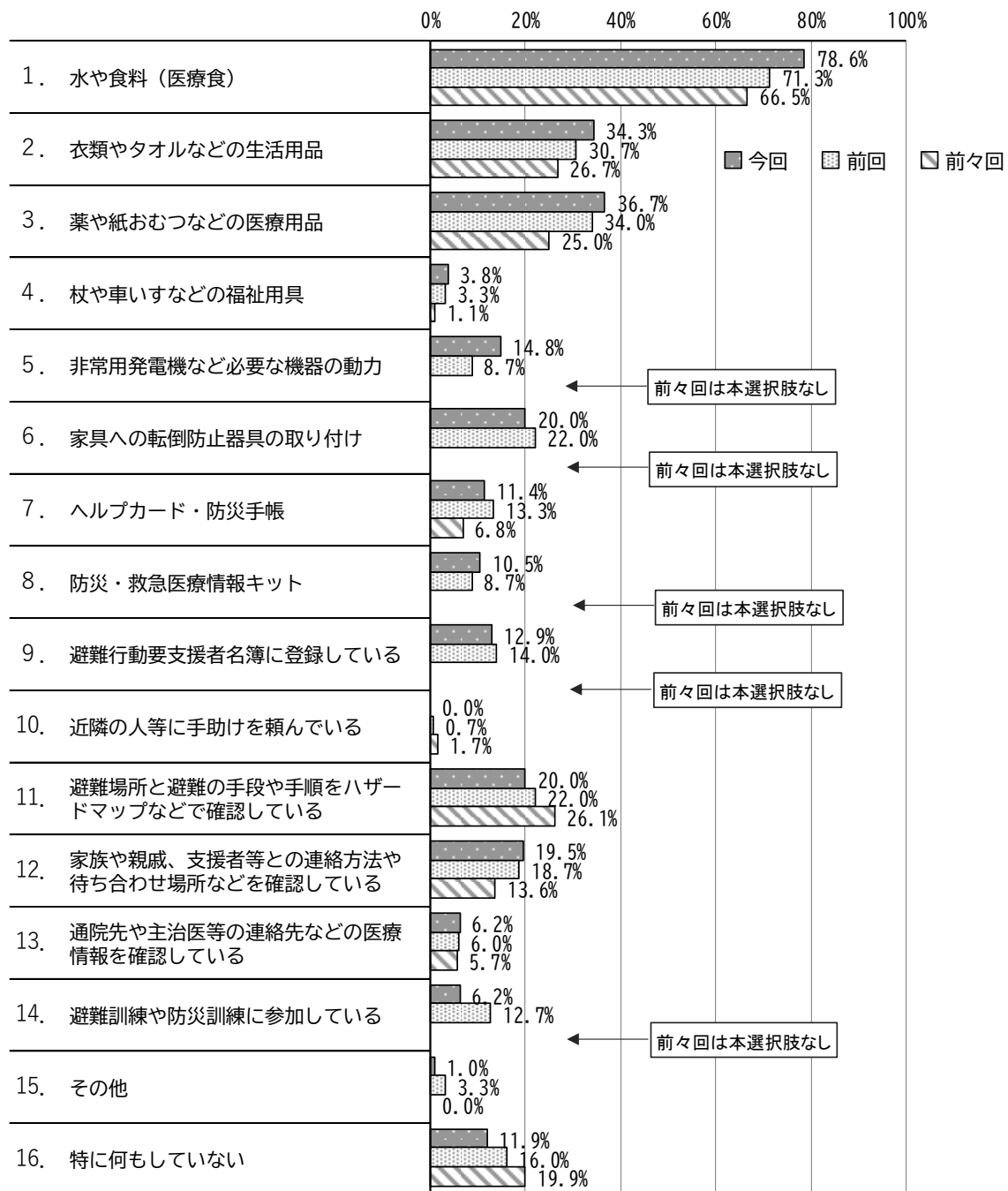
	回答者数	支援の種類								
		1. 専門家による障害児や発達に関する不安のあるお子さんの子育て相談	2. ペアレント・メンターによるサポートや情報提供	3. 発達障害児や発達に不安のあるお子さんの教育経験者の体験談や情報提供	4. 保護者への心理的ケアやカウンセリング	5. 兄弟姉妹の心理的ケアやカウンセリング	6. レスパイト (在宅での介護を一時的に代替し、介護者の負担軽減・休養を図るサービス)	7. 障害特性に関する情報提供	8. その他	
児童	人数	128	83	53	64	53	30	37	42	15
	構成比 (%)		64.8	41.4	50.0	41.4	23.4	28.9	32.8	11.7

防災について（問 35～問 36）

問 35 災害に備えて準備しているものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

「水や食料（医療食）」が約 79%

・「水や食料（医療食）」の割合が 78.6%と最も高く、次いで「薬や紙おむつなどの医療用品」の割合が 36.7%、「衣類やタオルなどの生活用品」の割合が 34.3%となっている。

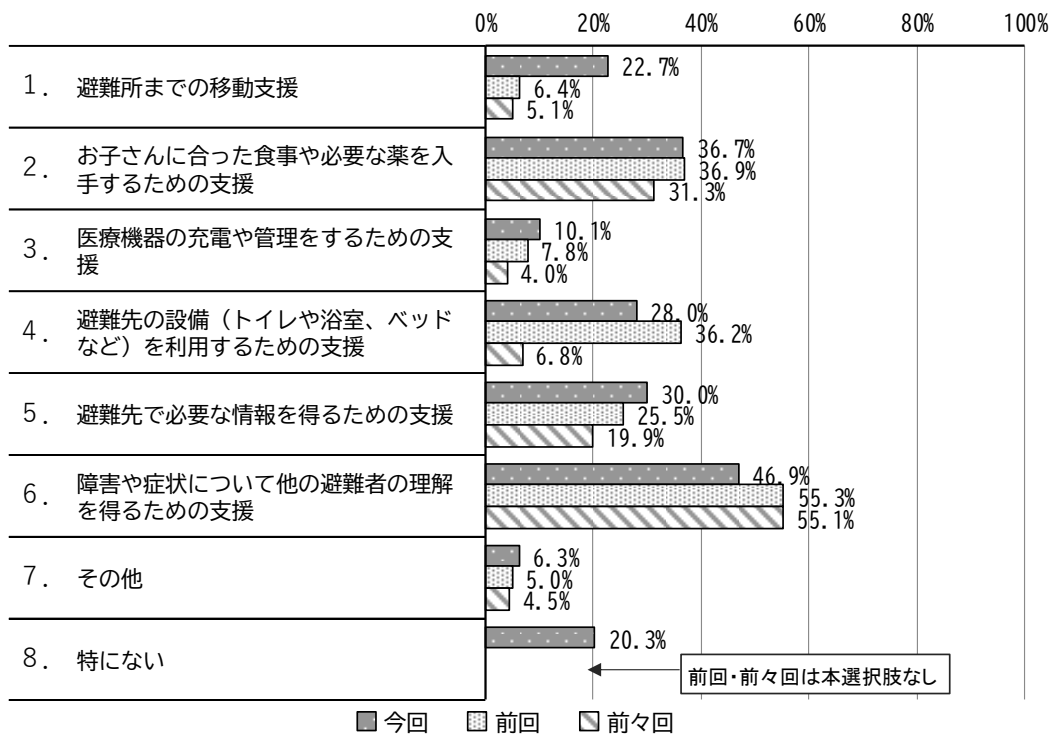


		回答者数	1. 水や食料（医療食）	2. 衣類やタオルなどの生活用品	3. 薬や紙おむつなどの医療用品	4. 杖や車いすなどの福祉用具	5. 非常用発電機など必要な機器の動力	6. 家具への転倒防止器具の取り付け	7. ヘルプカード・防災手帳	8. 防災・救急医療情報キット
児童	人数	210	165	72	77	8	31	42	24	22
	構成比 (%)		78.6	34.3	36.7	3.8	14.8	20.0	11.4	10.5
		9. 避難行動要支援者名簿に登録している	10. 近隣の人等に手助けを頼んでいる	11. 避難場所と避難の手段や手順をハザードマップなどで確認している	12. 家族や親戚、支援者等との連絡方法や待ち合わせ場所などを確認している	13. 通院先や主治医等の連絡先などの医療情報を確認している	14. 避難訓練や防災訓練に参加している	15. その他	16. 特に何もしていない	
児童	人数	27	-	42	41	13	13	2	25	
	構成比 (%)	12.9	-	20.0	19.5	6.2	6.2	1.0	11.9	

問 36 災害等により避難所で生活することになった場合、どのような支援が必要ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「他の避難者の理解を得るための支援」が約 47%

- ・「障害や症状について他の避難者の理解を得るための支援」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「お子さんに合った食事や必要な薬を入手するための支援」の割合が 36.7%、「避難先で必要な情報を得るための支援」の割合が 30.0%となっている。
- ・前回と比較すると、「避難所までの移動支援」の割合が増加している。



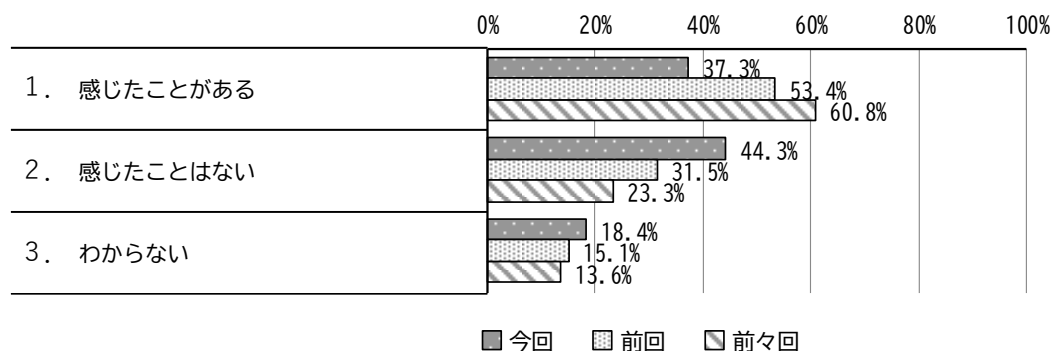
	回答者数	1. 避難所までの移動支援	2. お子さんに合った食事や必要な薬を入手するための支援	3. 医療機器の充電や管理をするための支援	4. 避難先の設備（トイレや浴室、ベッドなど）を利用するための支援	5. 避難先で必要な情報を得るための支援	6. 障害や症状について他の避難者の理解を得るための支援	7. その他	8. 特にない	
		児童	人数	207	47	76	21	58	62	97
	構成比 (%)		22.7	36.7	10.1	28.0	30.0	46.9	6.3	20.3

権利擁護について（問 37～問 40）

問 37 お子さんに関して、この3年間に差別をされたと感じたことはありますか。
（1つに○）

「感じたことはない」約 44%

- ・前回と比較すると、「感じたことがある」の割合が減少している。一方、「感じたことはない」の割合が増加している。



※前々回は期間を限定していない。

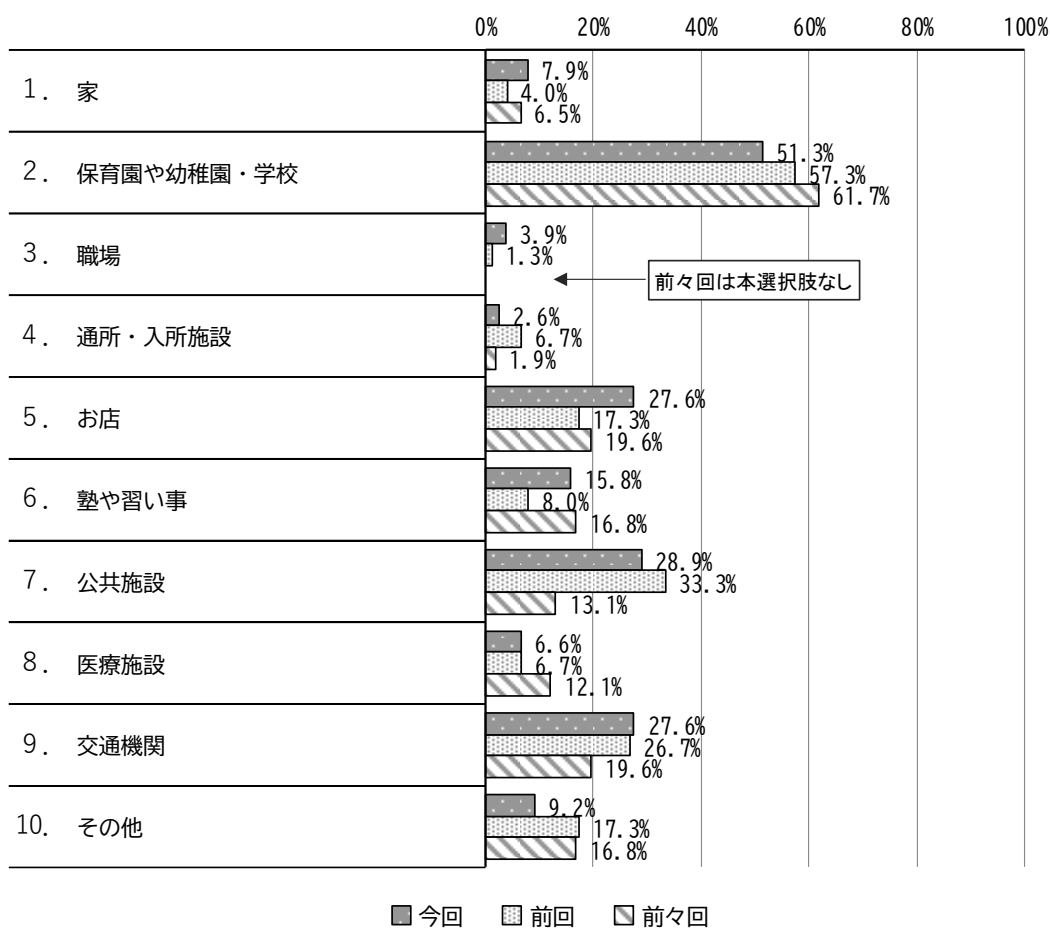
		回答者数	1. 感じたことがある	2. 感じたことはない	3. わからない
児童	人数	212	79	94	39
	構成比 (%)		37.3	44.3	18.4

★問 37 で、「1. 感じたことがある」と回答した方にお聞きします。

問 37-A 「どこで」差別を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

「保育園や幼稚園・学校」が約 51%

- ・「保育園や幼稚園・学校」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「公共施設」の割合が 28.9%、「お店」「交通機関」の割合が 27.6%となっている。
- ・前回と比較すると、「お店」の割合が増加している。



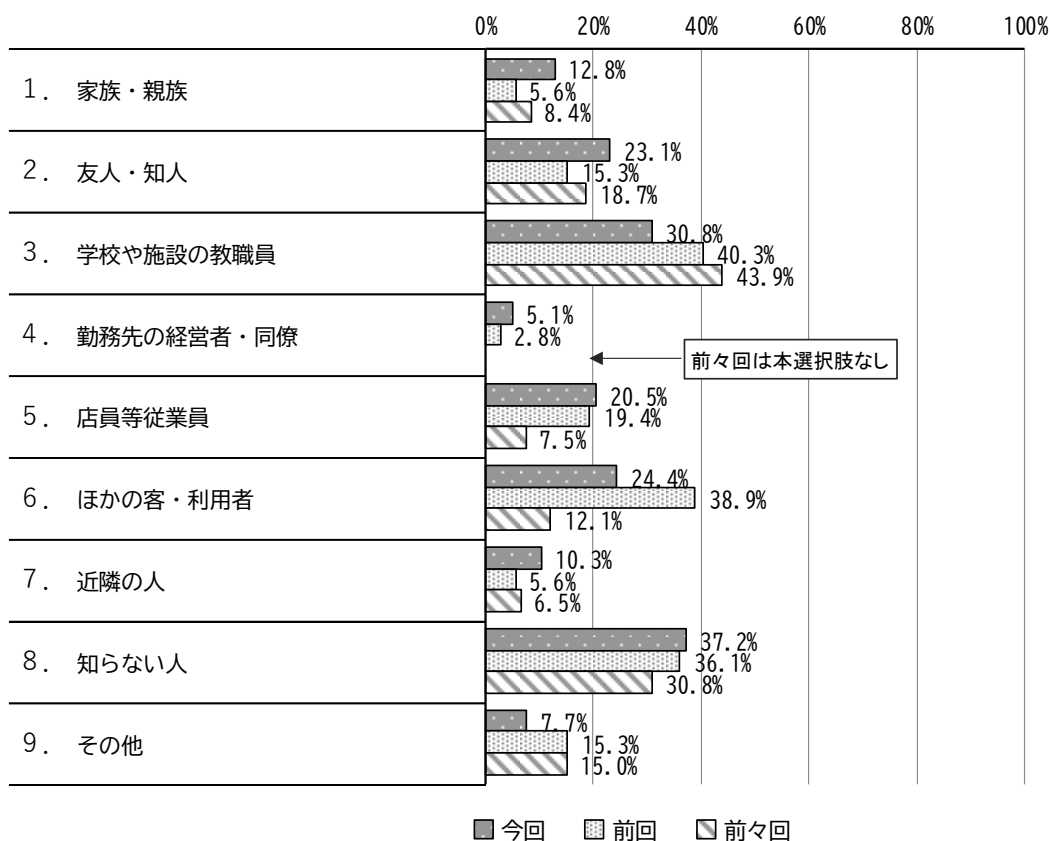
		回答者数	1. 家	2. 保育園や幼稚園・学校	3. 職場	4. 通所・入所施設	5. お店	6. 塾や習い事	7. 公共施設	8. 医療施設	9. 交通機関	10. その他
児童	人数	76	6	39	3	2	21	12	22	5	21	7
	構成比 (%)		7.9	51.3	3.9	2.6	27.6	15.8	28.9	6.6	27.6	9.2

★問 37 で、「1. 感じたことがある」と回答した方にお聞きします。

問 37-A 「誰から」差別を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

「知らない人」が約 37%

- ・「知らない人」の割合が 37.2%と最も高く、次いで「学校や施設の教職員」の割合が 30.8%、「ほかの客・利用者」の割合が 24.4%となっている。
- ・前回と比較すると、「ほかの客・利用者」の割合が減少している。



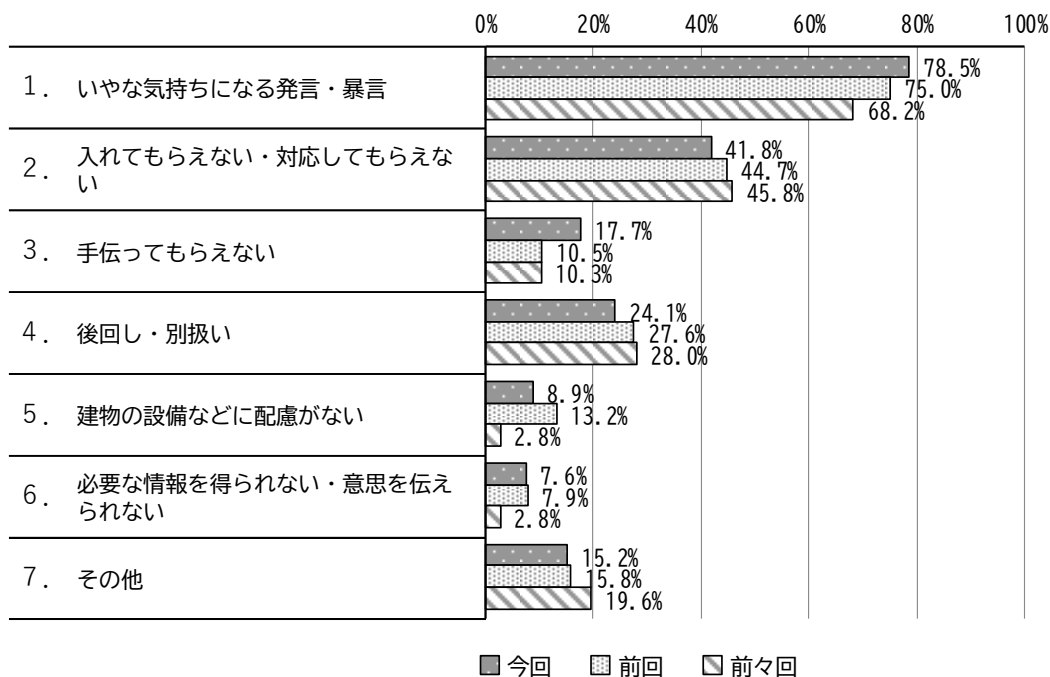
	回答者数	1. 家族・親族	2. 友人・知人	3. 学校や施設の教職員	4. 勤務先の経営者・同僚	5. 店員等従業員	6. ほかの客・利用者	7. 近隣の人	8. 知らない人	9. その他
		児童	78	10	18	24	4	16	19	8
		12.8	23.1	30.8	5.1	20.5	24.4	10.3	37.2	7.7

★問 37 で、「1. 感じたことがある」と回答した方にお聞きします。

問 37-A 「どのような」差別を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

「いやな気持ちになる発言・暴言」が約 79%

・「いやな気持ちになる発言・暴言」の割合が 78.5%と最も高く、次いで「入れてもらえない・対応してもらえない」の割合が 41.8%、「後回し・別扱い」の割合が 24.1%となっている。



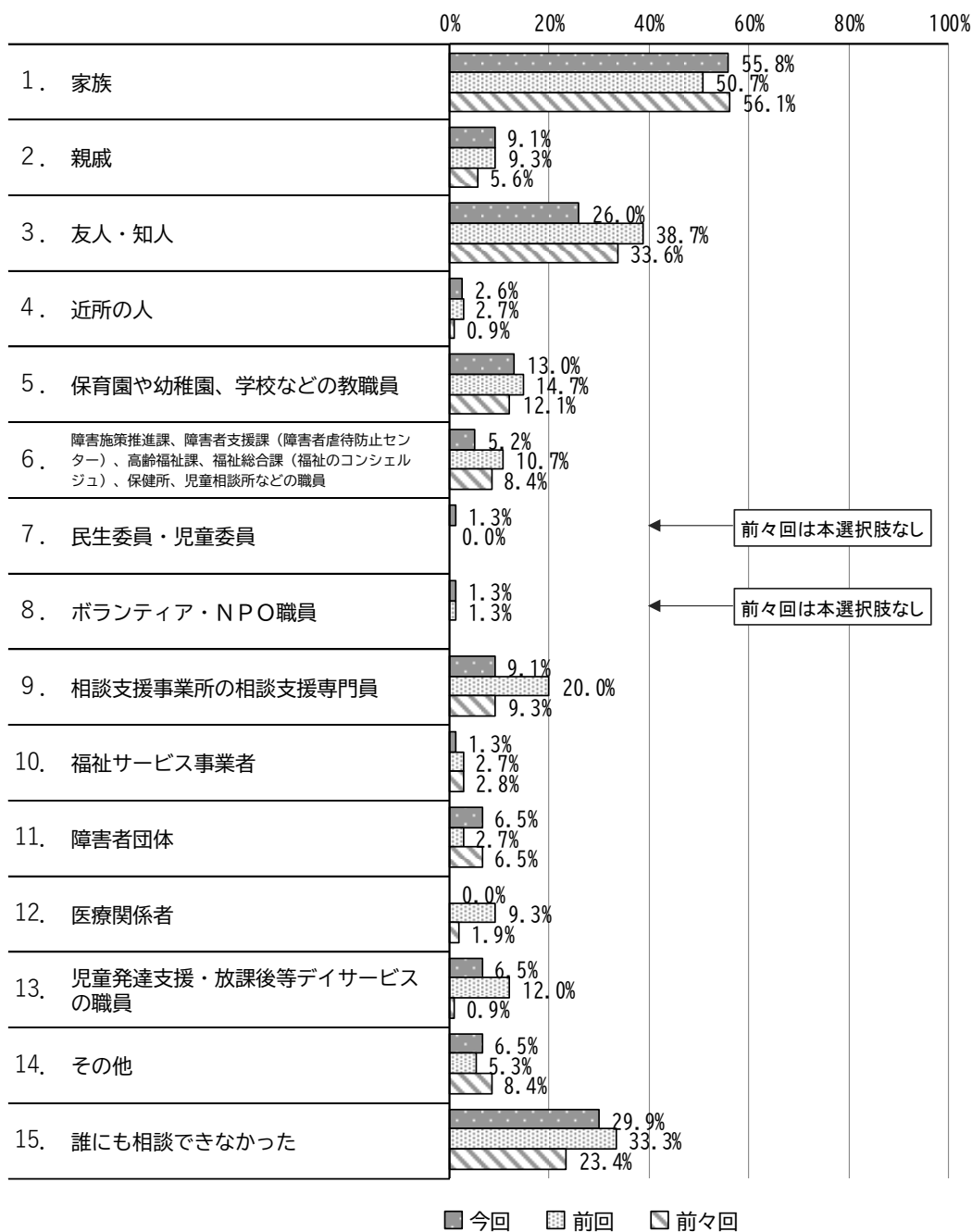
		回答者数	1. いやな気持ちになる発言・暴言	2. 入れてもらえない・対応してもらえない	3. 手伝ってもらえない	4. 後回し・別扱い	5. 建物の設備などに配慮がない	6. 必要な情報を得られない・意思を伝えられない	7. その他
児童	人数	79	62	33	14	19	7	6	12
	構成比 (%)		78.5	41.8	17.7	24.1	8.9	7.6	15.2

★問 37 で、「1. 感じたことがある」と回答した方にお聞きします。

問 37-B 差別をされたとき、誰またはどのようなところに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

「家族」が約 56%、「誰にも相談できなかった」が約 30%

- ・「家族」の割合が 55.8%と最も高く、次いで「誰にも相談できなかった」の割合が 29.9%、「友人・知人」の割合が 26.0%となっている。
- ・前回と比較すると、「友人・知人」「相談支援事業所の相談支援専門員」の割合が減少している。



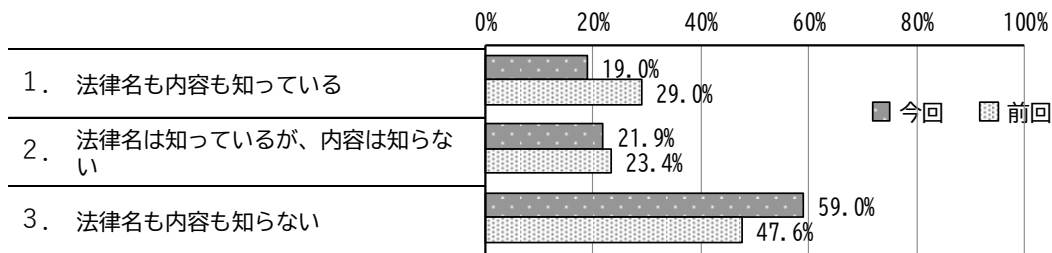
		回答者数	1. 家族	2. 親戚	3. 友人・知人	4. 近所の人	5. 保育園や幼稚園、学校などの教職員	6. 障害施策推進課、障害者支援課（障害者虐待防止センター）、高齢福祉課、福祉総合課（福祉のコンシェルジュ）、保健所、児童相談所などの職員	7. 民生委員・児童委員
児童	人数	77	43	7	20	2	10	4	1
	構成比 (%)		55.8	9.1	26.0	2.6	13.0	5.2	1.3

		8. ボランティア・NPO職員	9. 相談支援事業所の相談支援専門員	10. 福祉サービス事業者	11. 障害者団体	12. 医療関係者	13. 児童発達支援・放課後等デイサービスの職員	14. その他	15. 誰にも相談できなかった
児童	人数	1	7	1	5	-	5	5	23
	構成比 (%)	1.3	9.1	1.3	6.5	-	6.5	6.5	29.9

問 38 あなたは、「障害者差別解消法」を知っていますか。（1つに○）

「法律名も内容も知らない」が 59%

・前回と比較すると、「法律名も内容も知らない」の割合が増加している。一方、「法律名も内容も知っている」の割合が減少している。

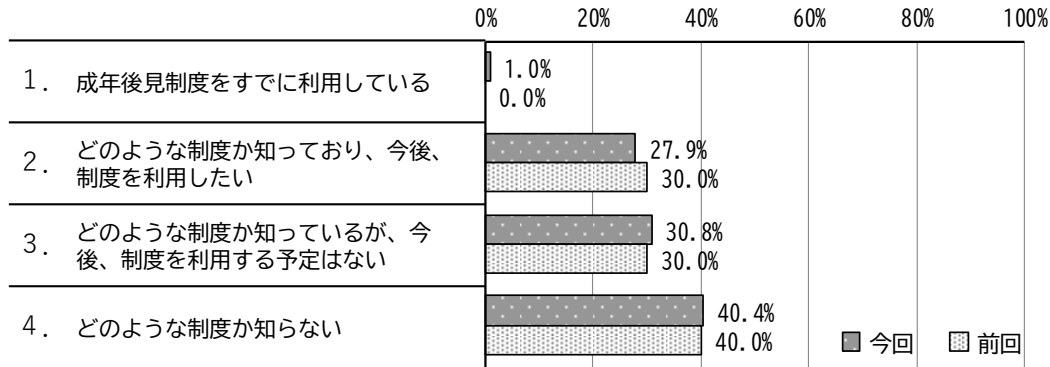


		回答者数	1. 法律名も内容も知っている	2. 法律名は知っているが、内容は知らない	3. 法律名も内容も知らない
児童	人数	210	40	46	124
	構成比 (%)		19.0	21.9	59.0

問 39 障害や高齢化などにより、自分ひとりで判断することが難しい方の権利を守る「成年後見制度」を知っていますか。または、利用したいですか。(1つに○)

「どのような制度か知らない」が約 40%

・「どのような制度か知らない」の割合が 40.4%と最も高く、次いで「どのような制度か知っているが、今後、制度を利用する予定はない」の割合が 30.8%、「どのような制度か知っており、今後、制度を利用したい」の割合が 27.9%となっている。

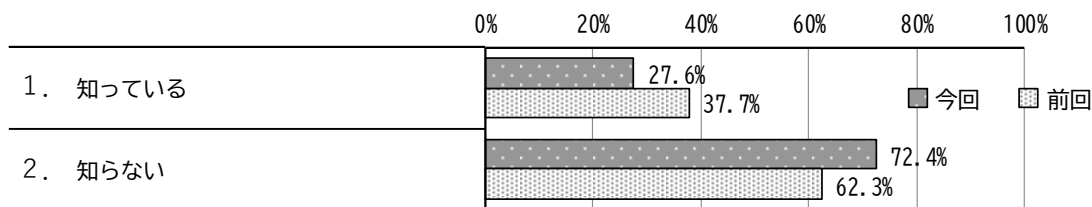


		回答者数	1. 成年後見制度をすでに利用している	2. どのような制度か知っており、今後、制度を利用したい	3. どのような制度か知っているが、今後、制度を利用する予定はない	4. どのような制度か知らない
児童	人数	208	2	58	64	84
	構成比 (%)		1.0	27.9	30.8	40.4

問 40 あなたは、「障害者虐待防止センター」に相談や通報ができることを知っていますか。(1つに○)

「知らない」が約 72%

・前回と比較すると、「知らない」の割合が増加している。一方、「知っている」の割合が減少している。



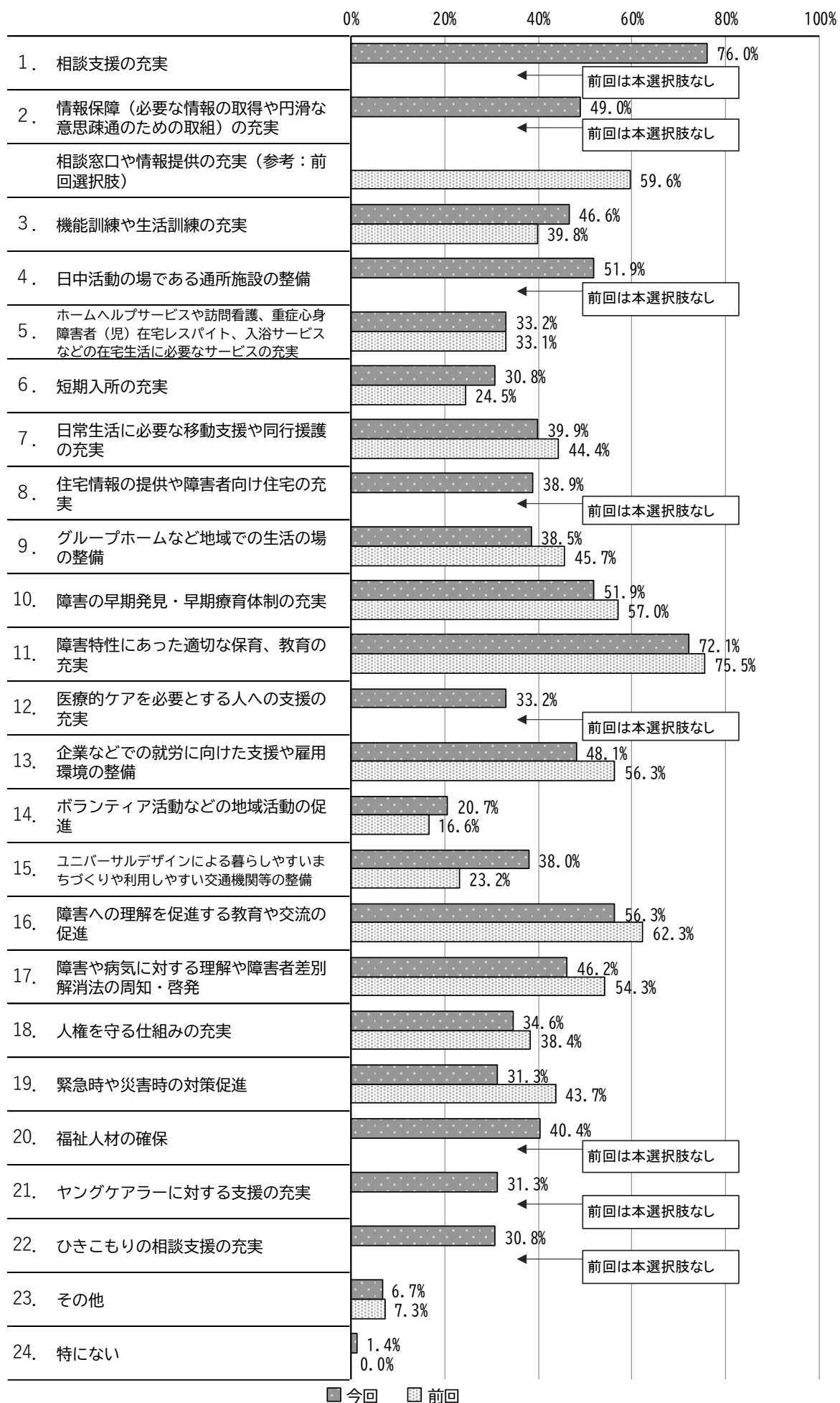
		回答者数	1. 知っている	2. 知らない
児童	人数	210	58	152
	構成比 (%)		27.6	72.4

障害がある人のための取り組みについて（問 41）

問 41 あなたは、障害のある方が、必要な支援を受けながら地域で自立した生活を送るために、重要と思う取り組みは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「相談支援の充実」が 76%
「障害への理解を促進する教育や交流の促進」の割合が約 56%

- ・「相談支援の充実」の割合が 76.0%と最も高く、次いで「障害特性にあった適切な保育、教育の充実」の割合が 72.1%、「障害への理解を促進する教育や交流の促進」の割合が 56.3%となっている。
- ・前回と比較すると、「ユニバーサルデザインによる暮らしやすいまちづくりや利用しやすい交通機関等の整備」の割合が増加している。一方、「緊急時や災害時の対策促進」の割合が減少している。
- ・なお、今回調査の「1 相談支援の充実 2 情報保障（必要な情報の取得や円滑な意思疎通のための取組）の充実」については、前回調査において「相談支援や情報保障の充実」として選択肢を合わせていたため、参考データとして示している。



	回答者数	1. 相談支援の充実	2. 情報保障(必要な情報の取得や円滑な意思疎通のための取組)の充実	3. 機能訓練や生活訓練の充実	4. 日中活動の場である通所施設の整備	5. ホームヘルプサービスや訪問看護、重症心身障害者(児)在宅レスパイト、入浴サービスなどの在宅生活に必要なサービスの充実	6. 短期入所の充実	7. 日常生活に必要な移動支援や同行援護の充実	8. 住宅情報の提供や障害者向け住宅の充実	
児童	人数	208	158	102	97	108	69	64	83	81
	構成比 (%)		76.0	49.0	46.6	51.9	33.2	30.8	39.9	38.9

		9. グループホームなど地域での生活の場の整備	10. 障害の早期発見・早期療育体制の充実	11. 障害特性にあった適切な保育、教育の充実	12. 医療的ケアを必要とする人への支援の充実	13. 企業などでの就労に向けた支援や雇用環境の整備	14. ボランティア活動などの地域活動の促進	15. ユニバーサルデザインによる暮らしやすいまちづくりや利用しやすい交通機関等の整備	16. 障害への理解を促進する教育や交流の促進	17. 障害や病気に対する理解や障害者差別解消法の周知・啓発
児童	人数	80	108	150	69	100	43	79	117	96
	構成比 (%)	38.5	51.9	72.1	33.2	48.1	20.7	38.0	56.3	46.2

		18. 人権を守る仕組みの充実	19. 緊急時や災害時の対策促進	20. 福祉人材の確保	21. ヤングケアラーに対する支援の充実	22. ひきこもりの相談支援の充実	23. その他	24. 特になし
児童	人数	72	65	84	65	64	14	3
	構成比 (%)	34.6	31.3	40.4	31.3	30.8	6.7	1.4

